

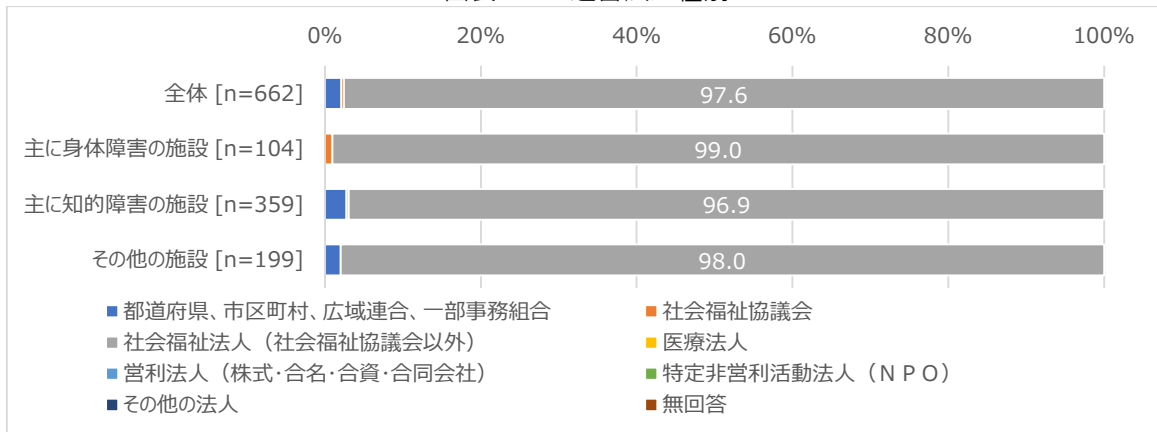
4 障害者支援施設における支援に関する調査 集計結果

(1) 施設の基本情報

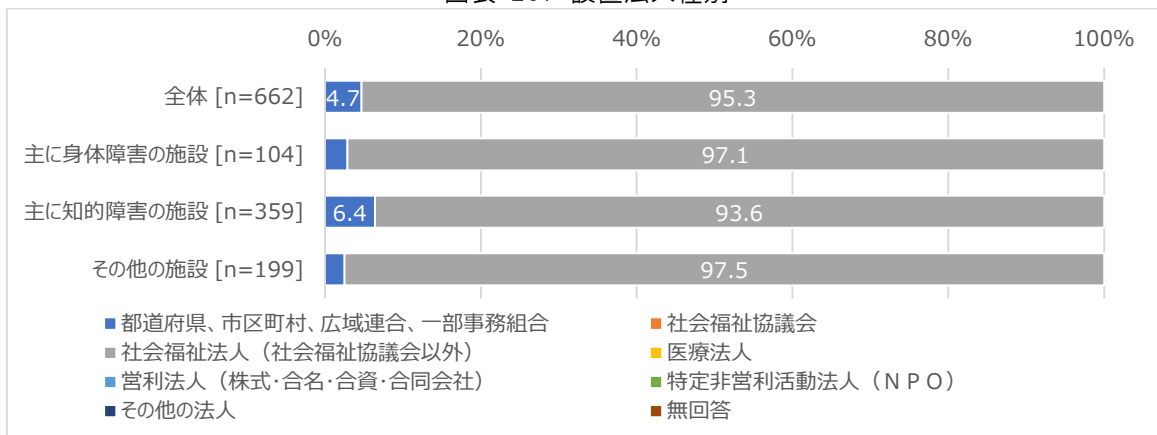
①運営法人種別

運営法人種別は、「社会福祉法人（社会福祉協議会以外）」が97.6%とほとんどを占める。設置法人種別も同様である。

図表 256 運営法人種別



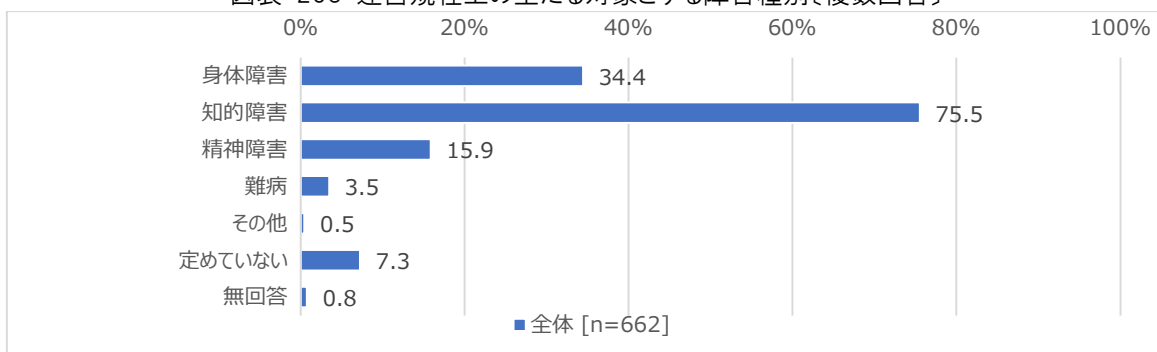
図表 257 設置法人種別



②運営規程上の主たる対象とする障害種別

運営規程上の主たる対象とする障害種別は、「知的障害」が75.5%、「身体障害」が34.4%、「精神障害」が15.9%、「定めていない」が7.3%等となっている。

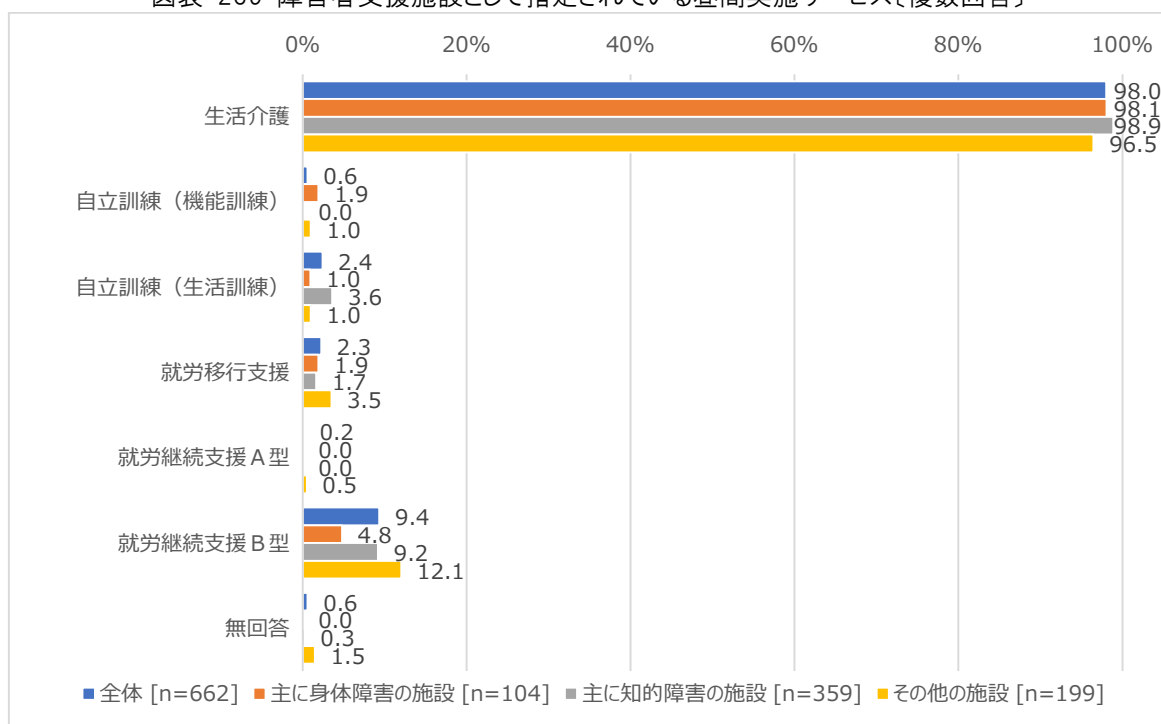
図表 258 運営規程上の主たる対象とする障害種別〔複数回答〕



③障害者支援施設として指定されている昼間実施サービス

障害者支援施設として指定されている昼間実施サービスは、「生活介護」が98.0%とほとんどを占める。

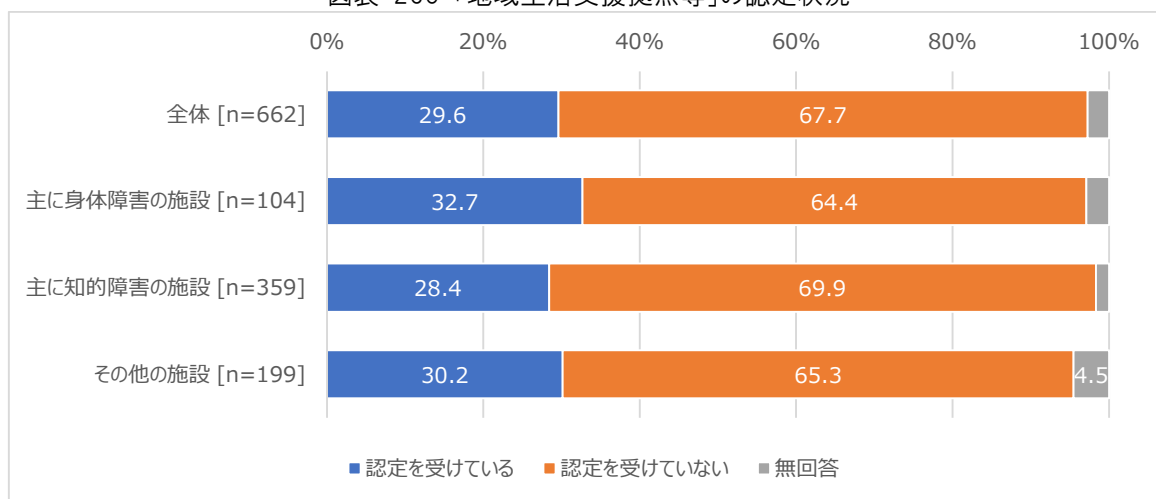
図表 259 障害者支援施設として指定されている昼間実施サービス〔複数回答〕



④「地域生活支援拠点等」の認定状況

「地域生活支援拠点等」の認定状況を聞いたところ、「認定を受けていない」が67.7%、「認定を受けている」が29.6%となっている。

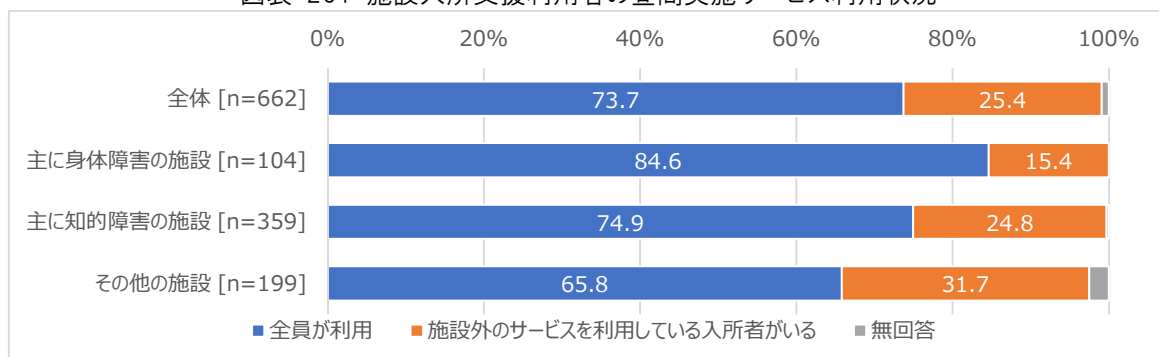
図表 260 「地域生活支援拠点等」の認定状況



⑤施設入所支援利用者の昼間実施サービス利用状況

施設入所支援利用者（施設入所者）の昼間実施サービス利用状況について、全員が施設の昼間サービスを利用しているかどうかを聞いたところ、「全員が利用」が73.7%、「施設外のサービスを利用している入所者がいる」が25.4%となっている。

図表 261 施設入所支援利用者の昼間実施サービス利用状況



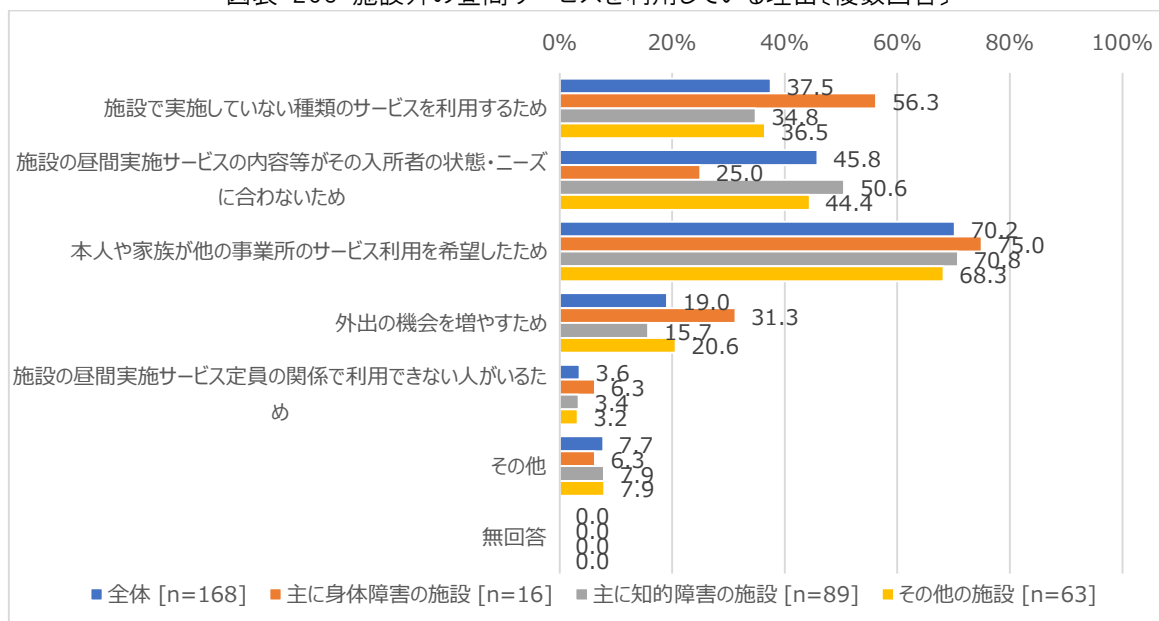
施設外の昼間サービス利用者がある施設に、人数等を聞いたところ、平均で実人数5.5人、延べ人数66.4人となっている。送迎方法別の延べ人数では、「通所先の事業所が送迎」が多くなっている。

図表 262 施設外の昼間サービス利用

(人)		全体 [n=158]	主に身体障害 の施設 [n=14]	主に知的障害 の施設 [n=84]	その他の施設 [n=60]
施設外サービスを利用している人数	実人数	5.5	5.1	5.7	5.2
	延べ人数	66.4	27.5	74.7	64.0
送迎方法別延べ人数	自施設が送迎	4.3	-	6.5	2.1
	通所先の事業所が送迎	21.9	16.6	20.4	25.3
	上記以外の送迎方法	0.9	0.7	0.9	1.0
	送迎していない	4.6	4.2	4.0	5.5

施設外の昼間サービスを利用している理由は、「本人や家族が他の事業所のサービス利用を希望したため」が70.2%と多くなっている。

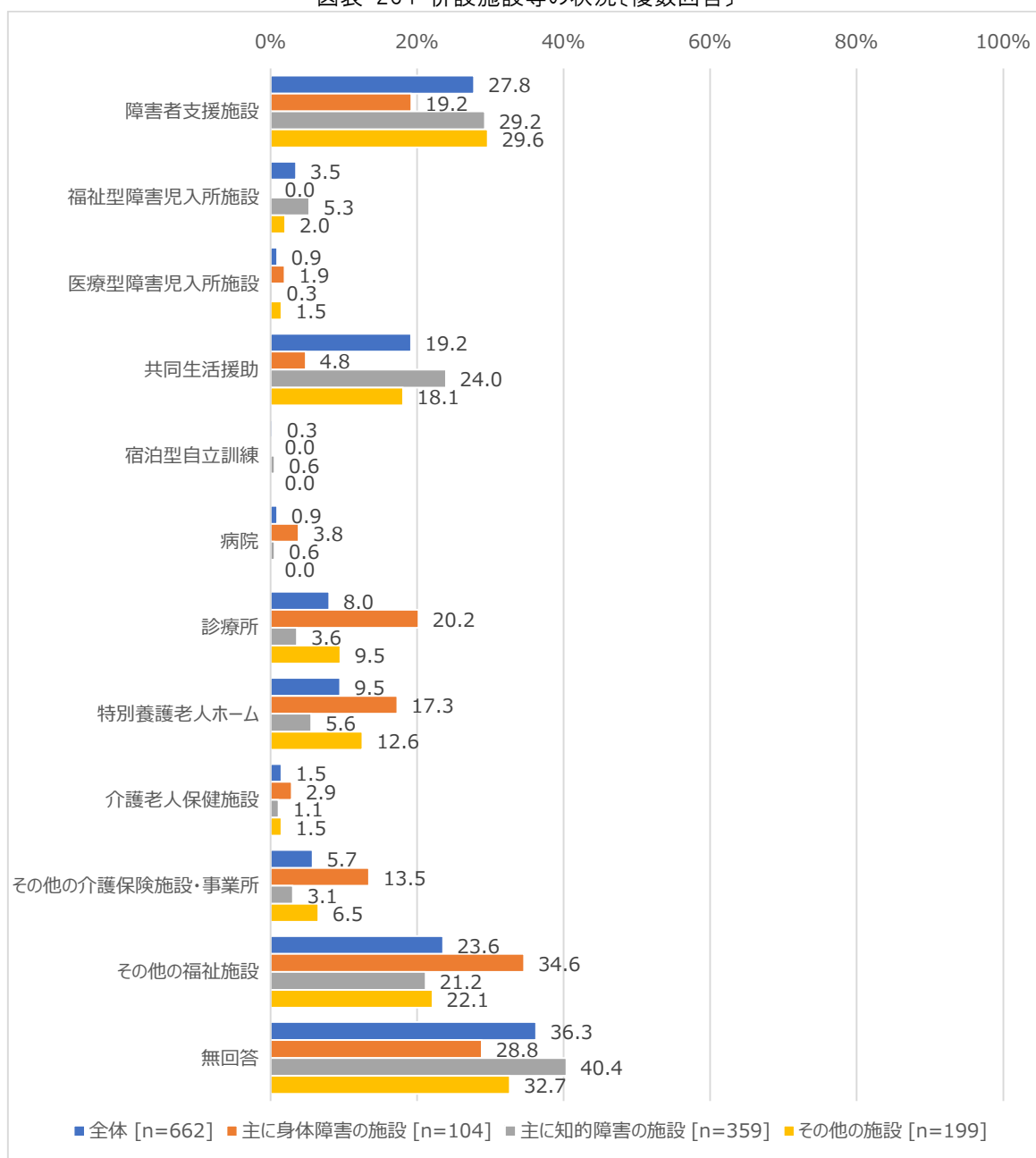
図表 263 施設外の昼間サービスを利用している理由〔複数回答〕



⑥併設施設等の状況

併設施設等の状況は、「障害者支援施設」が27.8%、「その他の福祉施設」が23.6%、「共同生活援助」が19.2%等となっている。

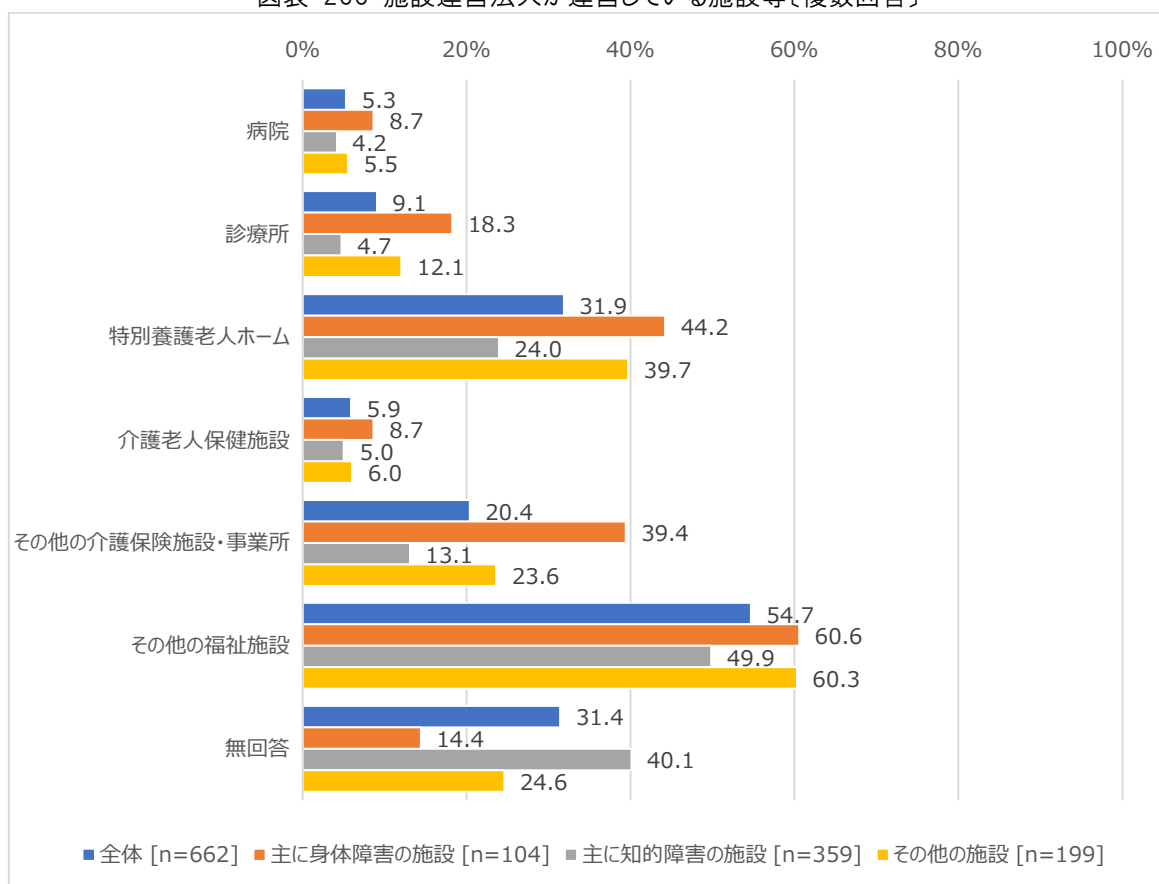
図表 264 併設施設等の状況〔複数回答〕



⑦施設運営法人が運営している施設等

施設運営法人が運営している施設等は、「その他の福祉施設」が54.7%、「特別養護老人ホーム」が31.9%、等となっている。

図表 265 施設運営法人が運営している施設等〔複数回答〕



⑧障害者支援施設全体での職員数

障害者支援施設全体での職員数は、平均で常勤専従28.6人、常勤兼務7.5人、非常勤9.9人等となっている。

図表 266 障害者支援施設全体での職員数

全体 [n=642] (人)	常勤専従		常勤兼務		非常勤	
	実職員数	実職員数	常勤換算数	実職員数	常勤換算数	
①施設長（管理者）	0.5	0.5	0.3	0.0	0.0	
①のうち社会福祉士	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	
②サービス管理責任者	1.1	0.5	0.3	0.0	0.0	
②のうち社会福祉士	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	
②のうち介護福祉士	0.6	0.2	0.1	0.0	0.0	
②のうち精神保健福祉士	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
③生活支援員等	21.0	4.8	4.2	6.3	3.5	
③のうち社会福祉士	1.4	0.4	0.2	0.1	0.0	
③のうち介護福祉士	8.0	1.8	1.2	0.7	0.4	
③のうち精神保健福祉士	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	
④理学療法士	0.1	0.1	0.0	0.2	0.0	
⑤作業療法士	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	
⑥言語聴覚士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
⑦医師	0.0	0.0	0.0	0.7	0.1	
⑧保健師・看護師	1.1	0.3	0.3	0.4	0.2	
⑨准看護師	0.6	0.1	0.1	0.2	0.1	
⑩管理栄養士	0.5	0.1	0.1	0.0	0.0	
⑪栄養士	0.4	0.1	0.1	0.0	0.0	
⑫調理員	1.4	0.3	0.2	0.6	0.3	
⑬事務員	1.4	0.6	0.4	0.3	0.2	
⑭その他職員	0.5	0.1	0.1	0.9	0.4	
合計	28.6	7.5	6.1	9.9	4.9	

⑨研修受講修了者数

研修受講修了者数は、「強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）」が平均で10.5人等となっている。

図表 267 研修受講修了者数

(人)	全体 [n=642]	主に身体障 害の施設 [n=97]	主に知的障 害の施設 [n=352]	その他の施 設 [n=193]
強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	10.5	1.7	14.5	7.6
強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	5.4	1.1	7.0	4.5
喀痰吸引等研修	2.1	6.4	0.6	2.8
サービス管理責任者研修	5.1	4.8	5.1	5.3

⑩職員の採用・退職状況

職員の採用・退職状況は、以下のようになっている。

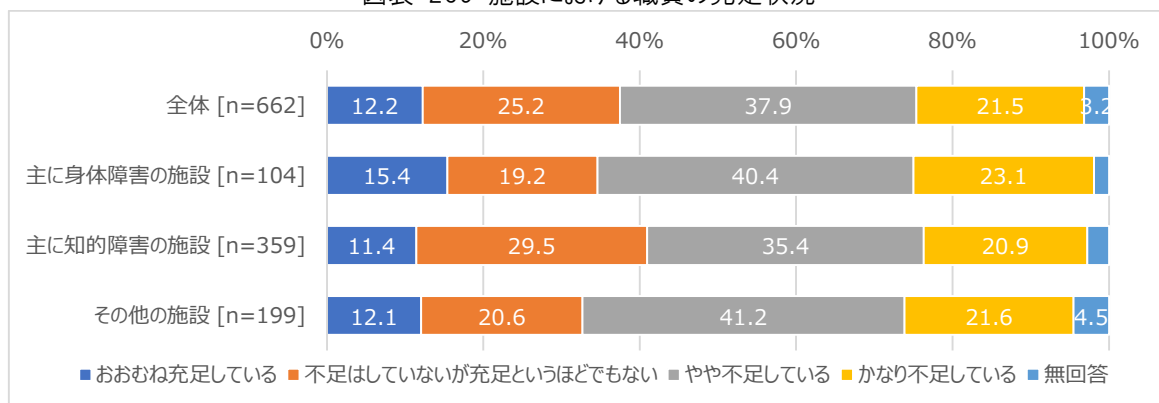
図表 268 職員の採用・退職状況

(人)		全体 [n=632]	主に身体障 害の施設 [n=100]	主に知的障 害の施設 [n=347]	その他の施 設 [n=185]
採用人数	常勤職員	3.2	3.6	2.9	3.7
	非常勤職員	1.6	2.2	1.4	1.7
退職人数	常勤職員	2.8	3.2	2.7	2.7
	非常勤職員	1.4	2.2	1.2	1.3

①施設における職員の充足状況

施設における職員の充足状況は、「やや不足している」が37.9%、「不足はしていないが充足というほどでもない」が25.2%、「かなり不足している」が21.5%、「おおむね充足している」が12.2%となっている。

図表 269 施設における職員の充足状況



(2) 施設入所支援の状況

①施設入所支援の定員数

施設入所支援の定員数は、平均で52.0人となっている。

図表 270 施設入所支援の定員数

	全体 [n=653]	主に身体障害の施設 [n=102]	主に知的障害の施設 [n=355]	その他の施設 [n=196]
施設入所支援の定員数 (人)	52.0	55.6	51.5	50.9

②施設入所支援の居室数

施設入所支援の居室数は、平均で35.9室となっている。うち、個室は22.7室となっている。

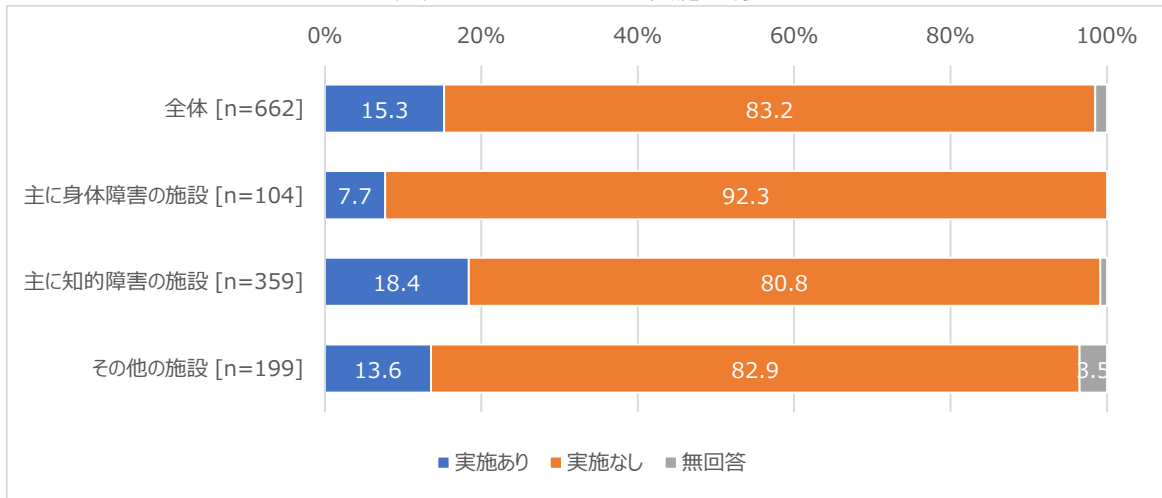
図表 271 施設入所支援の居室数

(室)	全体 [n=653]	主に身体障害の施設 [n=102]	主に知的障害の施設 [n=355]	その他の施設 [n=196]
個室利用	22.7	21.5	23.7	21.6
2人利用	10.4	11.2	10.6	9.7
3人利用	0.9	0.6	0.9	1.1
4人利用	1.8	3.4	1.2	2.0
5人以上利用	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	35.9	36.7	36.5	34.5

③ユニットケア実施状況

ユニットケア実施状況について聞いたところ、「実施なし」が83.2%、「実施あり」が15.3%となっている。

図表 272 ユニットケア実施の有無



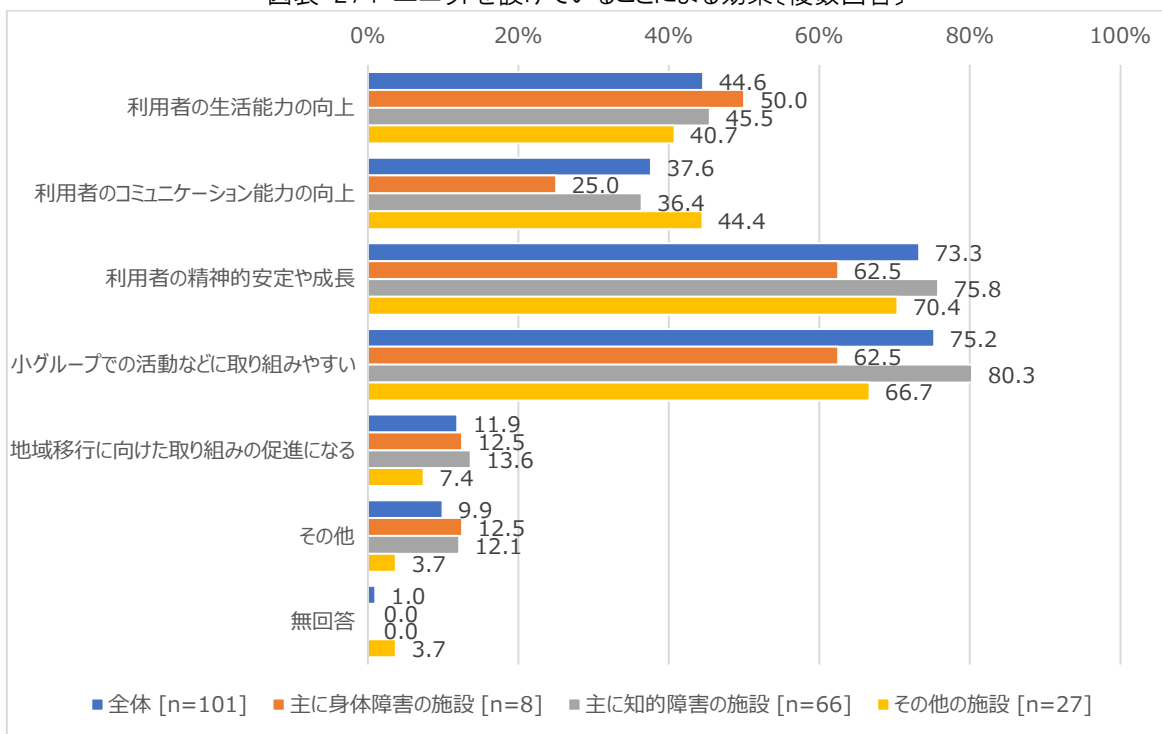
ユニットケア実施施設に、その状況を聞いたところ、ユニットに属する居室数は、平均で19.1室となっている。

図表 273 ユニットに属する居室数

	全体 [n=101]	主に身体障害の施設 [n=8]	主に知的障害の施設 [n=66]	その他の施設 [n=27]
平均居室数 (室)	19.1	19.5	17.2	23.6

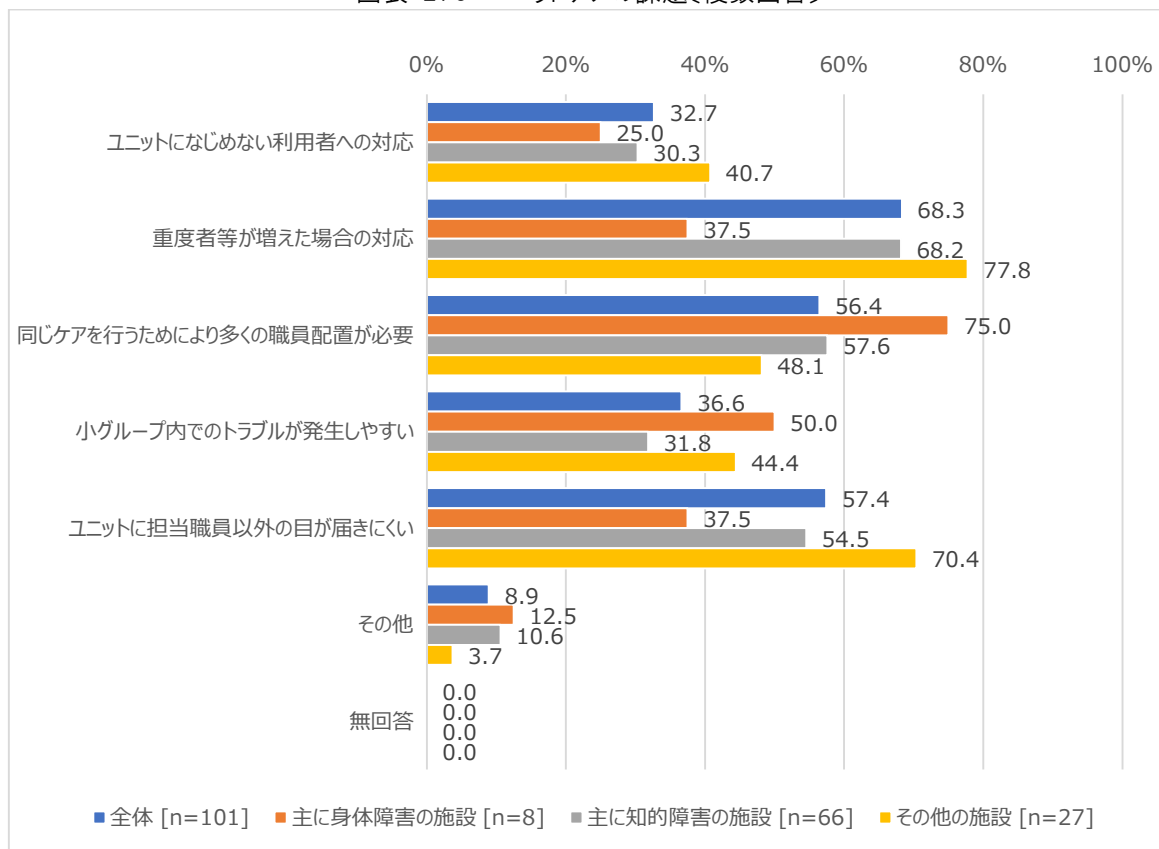
ユニットを設けていることによる効果は、「小グループでの活動などに取り組みやすい」が75.2%、「利用者の精神的安定や成長」が73.3%等となっている。

図表 274 ユニットを設けていることによる効果〔複数回答〕



ユニットケアの課題は、「重度者等が増えた場合の対応」が68.3%、「ユニットに担当職員以外の目が届きにくい」が57.4%、「同じケアを行うためにより多くの職員配置が必要」が56.4%等となっている。

図表 275 ユニットケアの課題〔複数回答〕



④年齢別・区分別実利用者数

年齢別・支援区分別で実利用者数を見ると、20歳以上35歳未満の区分6等が比較的多くなっている。

図表 276 年齢別・支援区分実利用者数

全体 [n=641] (人)	18歳未満	18歳以上 20歳未満	20歳以上 35歳未満	35歳以上 50歳未満	50歳以上 65歳未満	65歳以上	合計
区分1利用者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
うち、強度行動障害を有する者	-	-	-	-	-	-	-
うち、重症心身障害者	-	-	-	-	-	-	-
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	-	-	-	-	-	-	-
区分2利用者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2
うち、強度行動障害を有する者	-	-	-	-	-	-	-
うち、重症心身障害者	-	-	-	-	-	-	-
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	-	-	-	-	-	-	-
区分3利用者	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	0.6	1.4
うち、強度行動障害を有する者	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0
うち、重症心身障害者	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0
区分4利用者	0.0	0.0	0.5	1.4	2.2	1.7	5.8
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	0.4
うち、重症心身障害者	-	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	-	-	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2
区分5利用者	0.1	0.1	1.3	3.4	5.0	3.5	13.3
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.4	1.2	1.0	0.4	3.0
うち、重症心身障害者	-	0.0	0.1	0.1	0.3	0.1	0.6
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.3	0.7
区分6利用者	0.1	0.1	3.0	8.0	10.7	6.8	28.7
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	1.4	3.8	3.3	1.0	9.6
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.3	0.8	1.0	0.7	2.9
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.0	0.0	0.1	0.5	1.0	1.1	2.7
障害児・非該当・その他_利用者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
うち、強度行動障害を有する者	-	-	0.0	0.0	0.0	-	0.0
うち、重症心身障害者	-	-	-	-	-	-	-
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
合計	0.3	0.2	4.8	12.9	18.7	12.7	49.6

⑤実利用者数

実利用者数は、平均で49.8人となっている。

図表 277 障害種別の実利用者数

(人)	全体 [n=641]	主に身体障 害の施設 [n=102]	主に知的障 害の施設 [n=348]	その他の施 設 [n=191]
身体障害	14.0	48.9	0.5	20.0
知的障害	34.8	2.6	48.7	26.6
精神障害	0.8	1.0	0.3	1.6
難病等	0.2	0.6	0.0	0.3
合計	49.8	53.1	49.5	48.4
(再掲) 発達障害	1.5	0.7	2.0	1.1
(再掲) 高次脳機能障害	0.8	2.3	0.1	1.0

⑥入所年数別の実利用者数

入所年数別の実利用者数について聞いたところ、「10年以上20年未満」が多くなっている。

図表 278 入所年数別の実利用者数

(人)	全体 [n=635]	主に身体障 害の施設 [n=101]	主に知的障 害の施設 [n=346]	その他の施 設 [n=188]
5年未満	8.6	13.7	6.2	10.2
5年以上10年未満	7.5	9.9	6.8	7.8
10年以上20年未満	13.0	13.3	12.4	13.8
20年以上30年未満	9.9	8.3	11.8	7.5
30年以上	10.6	7.8	12.3	8.8
合計	49.6	53.0	49.5	48.0

⑦支給決定自治体の内外別の実利用者数

支給決定自治体の内外別の実利用者数について聞いたところ、「支給決定自治体が、施設が立地する都道府県内である入所者」が多くなっている。

図表 279 支給決定自治体の内外別の実利用者数

(人)	全体 [n=634]	主に身体障 害の施設 [n=100]	主に知的障 害の施設 [n=346]	その他の施 設 [n=188]
支給決定自治体が、施設が立地する都道府県内である入所者	46.1	50.2	45.0	46.1
支給決定自治体が、施設が立地する都道府県外である入所者	3.4	2.7	3.7	3.1
合計	49.5	52.9	48.6	49.3

⑧施設入所支援の利用（入所）申込・登録をしており現在未入所の人数

施設入所支援の利用（入所）申込・登録をしており現在未入所の人数は、平均で14.6人となっている。

図表 280 施設入所支援の利用(入所)申込・登録をしており現在未入所の人数

	全体 [n=537]	主に身体障 害の施設 [n=94]	主に知的障 害の施設 [n=283]	その他の施 設 [n=160]
平均人数(人)	14.6	13.9	16.0	12.5

そのうち、定員外の入所者数は、平均で0.3人となっている。

図表 281 施設入所支援の利用(入所)申込・登録をしており現在未入所の人数のうち、定員外の入所者数

	全体 [n=548]	主に身体障 害の施設 [n=95]	主に知的障 害の施設 [n=290]	その他の施 設 [n=163]
平均人数(人)	0.3	0.2	0.4	0.2

⑨入浴サービスの提供延べ回数

入浴サービスの提供（昼間実施サービスの営業時間を除く）延べ回数は、令和4年12月の平均で420.5回となっている。また、利用者1人あたりの平均回数は9.0回となっている。

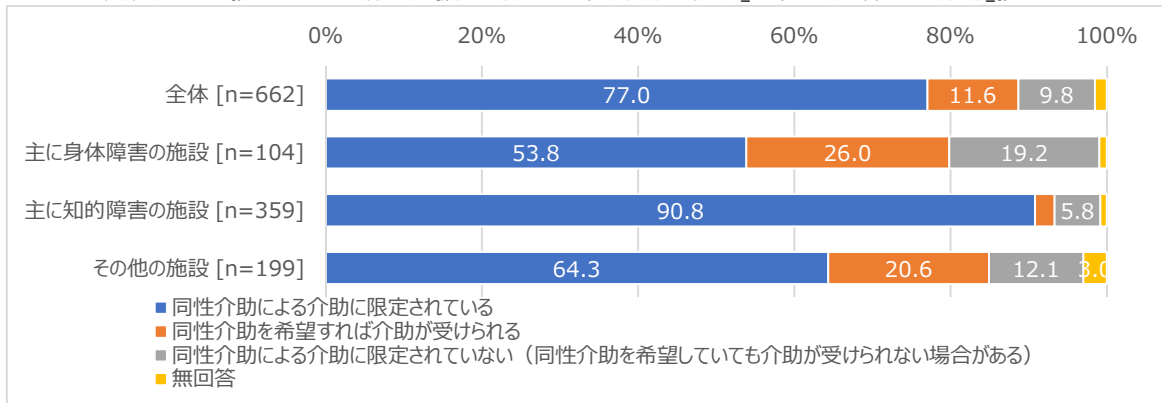
図表 282 入浴サービスの提供(昼間実施サービスの営業時間を除く)延べ回数

	全体 [n=644]	主に身体障 害の施設 [n=101]	主に知的障 害の施設 [n=351]	その他の施 設 [n=192]
提供延べ回数(回)	420.5	265.3	507.1	343.6
利用者1人あたり提供延べ回数(回/人)	9.0	4.8	11.1	7.4

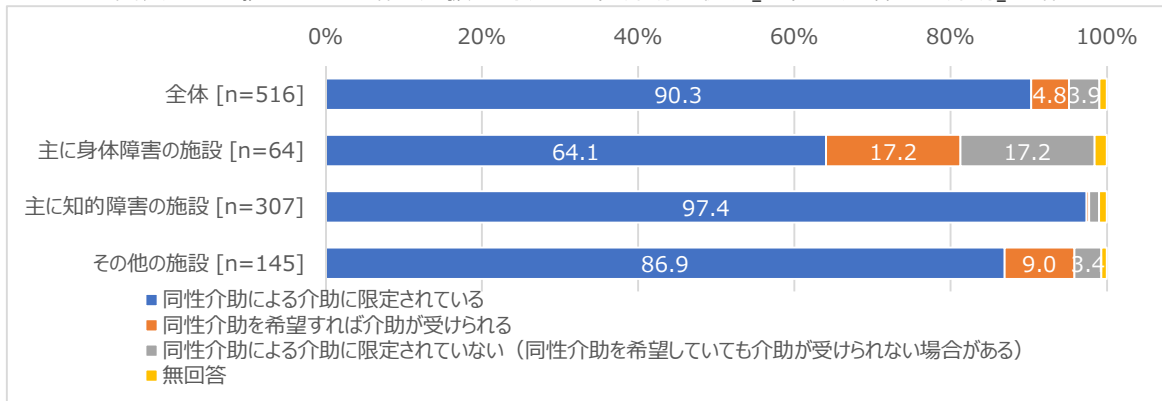
⑩排せつや入浴の支援に関する同性介助の状況

排せつや入浴の支援に関する同性介助の状況を聞いたところ、女性利用者への介助における「同性介助による介助に限定されている」が比較的多くなっている。

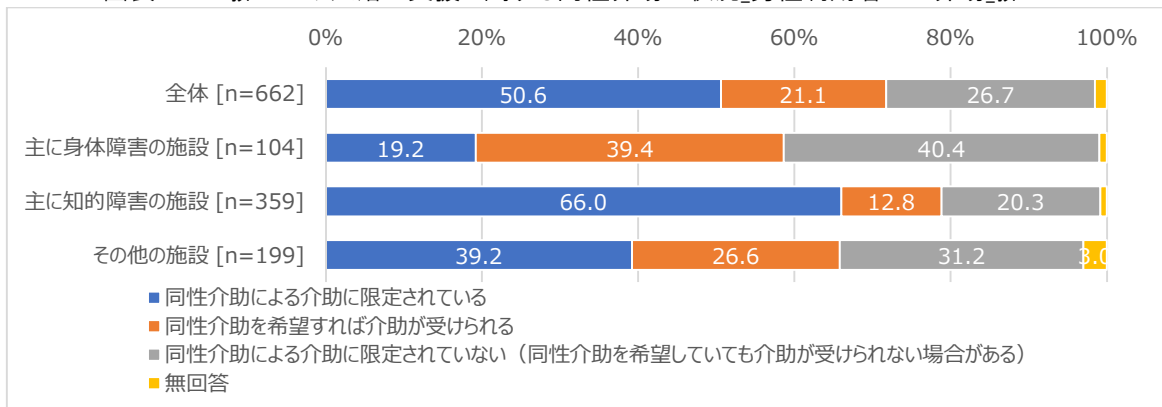
図表 283 排せつや入浴の支援に関する同性介助の状況_女性利用者への介助_排せつ



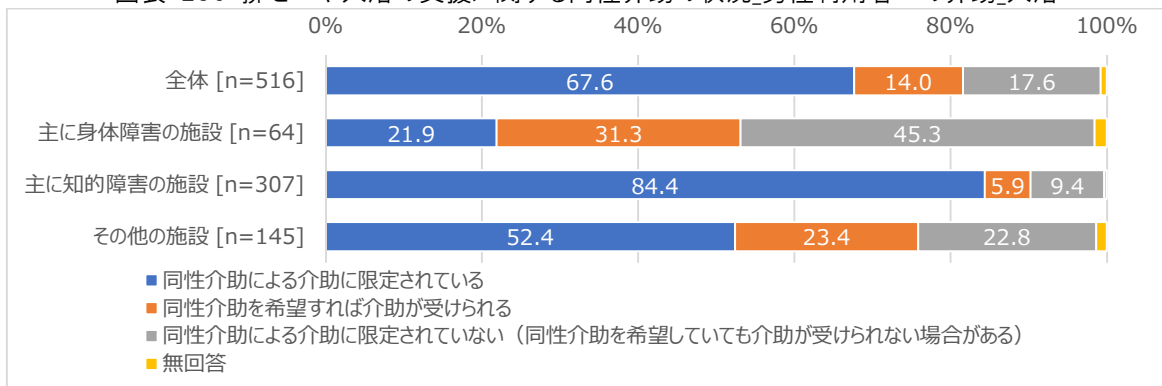
図表 284 排せつや入浴の支援に関する同性介助の状況_女性利用者への介助_入浴



図表 285 排せつや入浴の支援に関する同性介助の状況_男性利用者への介助_排せつ



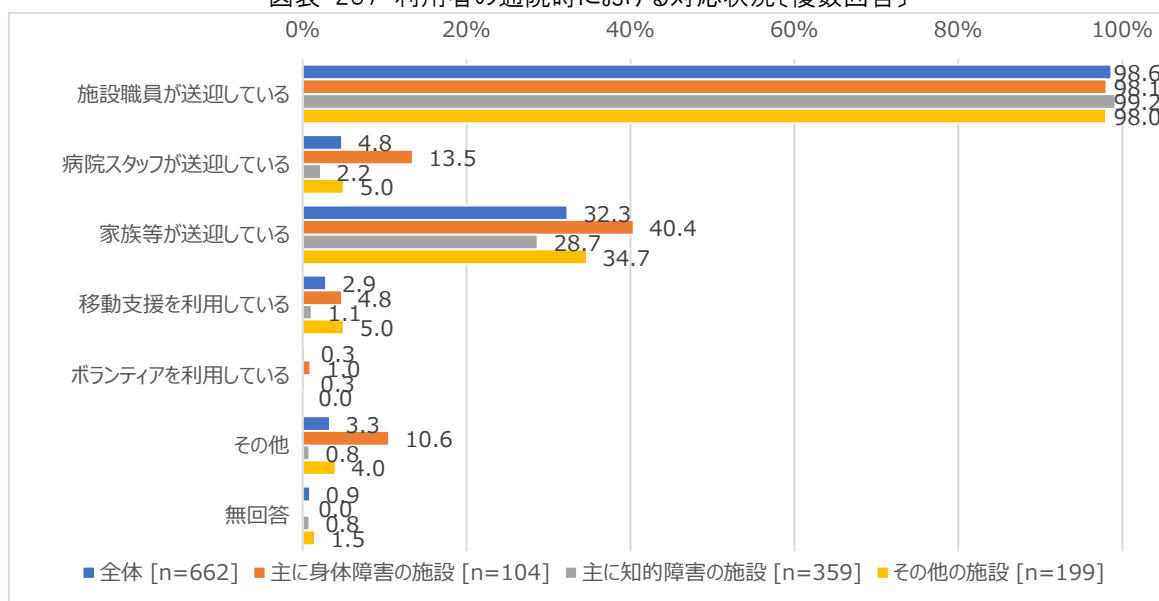
図表 286 排せつや入浴の支援に関する同性介助の状況_男性利用者への介助_入浴



①利用者の通院時における対応状況

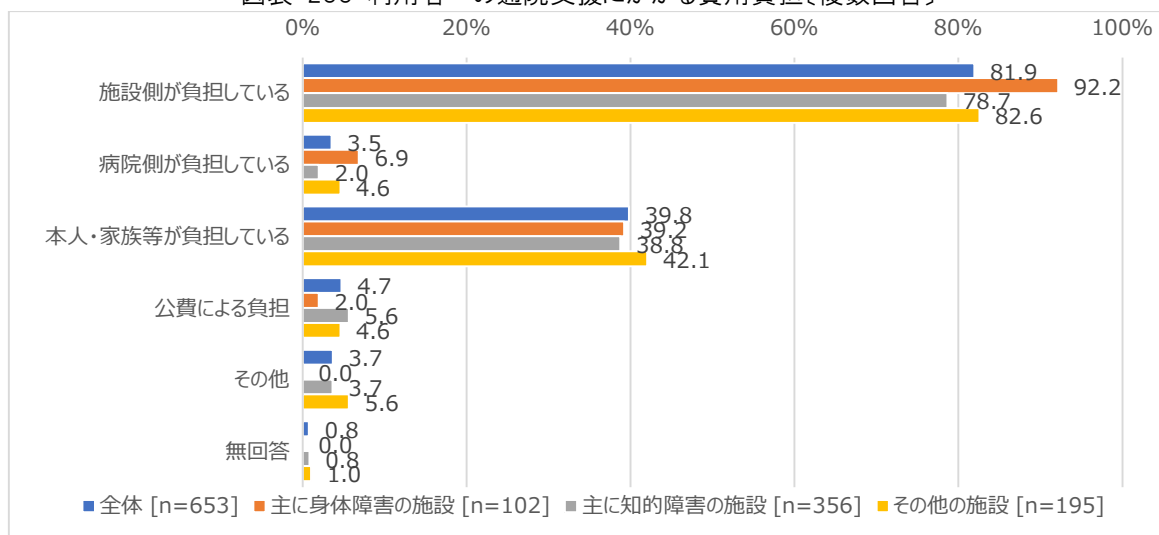
利用者の通院時における対応状況としては、「施設職員が送迎している」が98.6%、「家族等が送迎している」が32.3%となっている。

図表 287 利用者の通院時における対応状況〔複数回答〕



「施設職員が送迎している」「病院スタッフが送迎している」と回答した事業所に、利用者への通院支援にかかる費用負担について聞いたところ、「施設側が負担している」が81.9%となっている。

図表 288 利用者への通院支援にかかる費用負担〔複数回答〕



ひと月の通院にかかる施設あたりの平均延べ時間数、通院支援を行った平均人数等は、以下のようになっている。

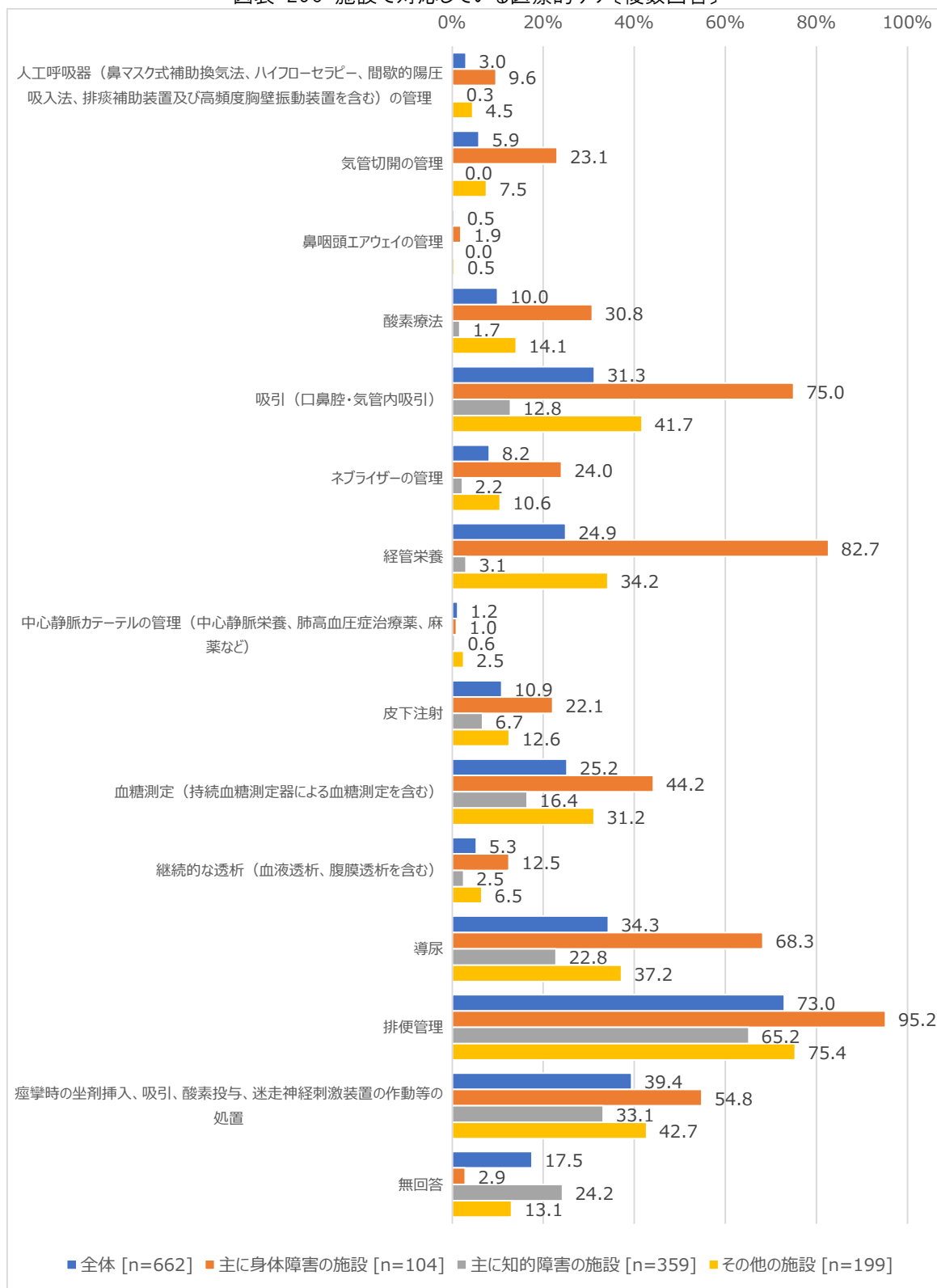
図表 289 ひと月の通院にかかる延べ時間数、通院支援を行った実人数等

	全体 [n=545]	主に身体障害の施設 [n=87]	主に知的障害の施設 [n=295]	その他の施設 [n=163]
ひと月の通院にかかる延べ時間数 (分)	3,329.0	3,143.9	3,632.5	2,878.4
通院した人の実人数 (人)	24.7	22.6	26.6	22.5
通院した人の延べ人数 (人)	41.8	37.0	46.3	36.2
利用者 1 人あたりの通院延べ時間数 (分/人)	79.7	85.0	78.5	79.6

⑫施設で対応している医療的ケア

施設で対応している医療的ケアは、「排便管理」が73.0%、「痙攣時の坐剤挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置」が39.4%、「導尿」が34.3%、「吸引（口鼻腔・気管内吸引）」が31.3%等となっている。

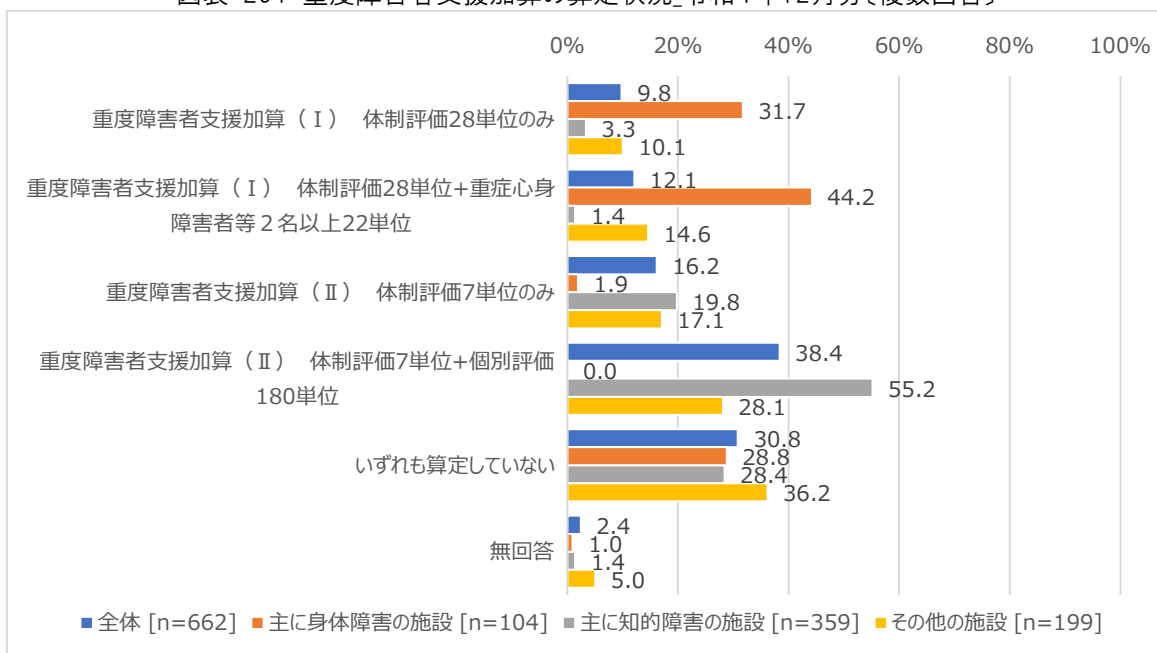
図表 290 施設で対応している医療的ケア〔複数回答〕



⑬ 重度障害者支援加算の算定状況

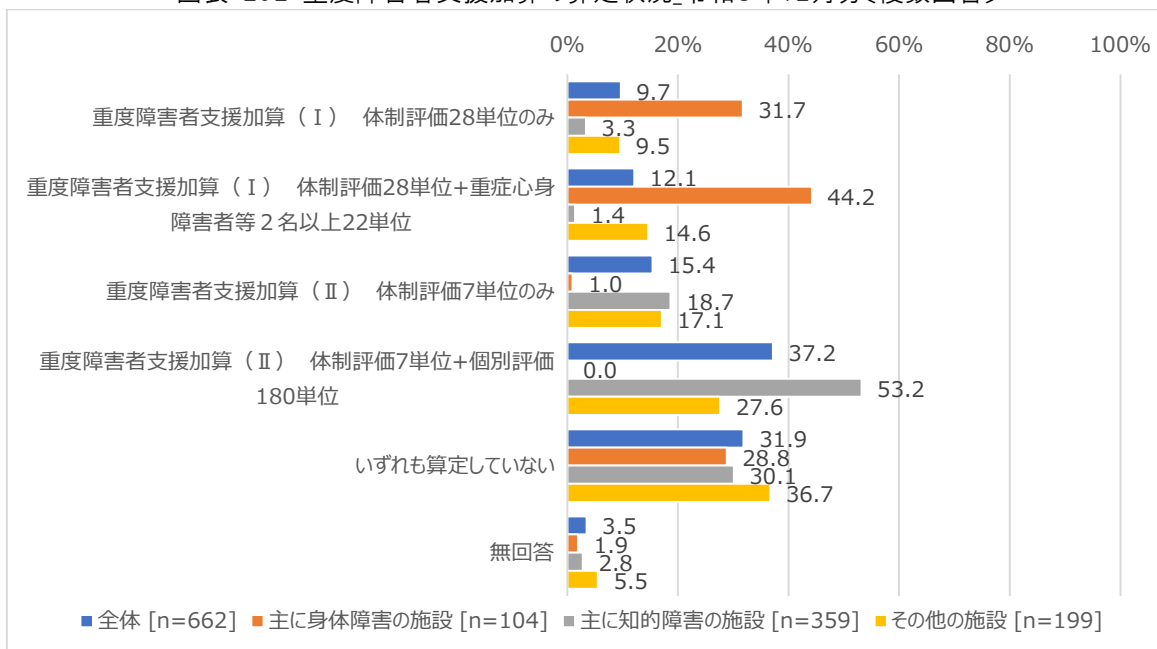
重度障害者支援加算の算定状況について聞いたところ、令和4年12月分は、「重度障害者支援加算（Ⅱ）体制評価7単位+個別評価180単位」が38.4%、「いずれも算定していない」が30.8%等となっている。

図表 291 重度障害者支援加算の算定状況_令和4年12月分[複数回答]



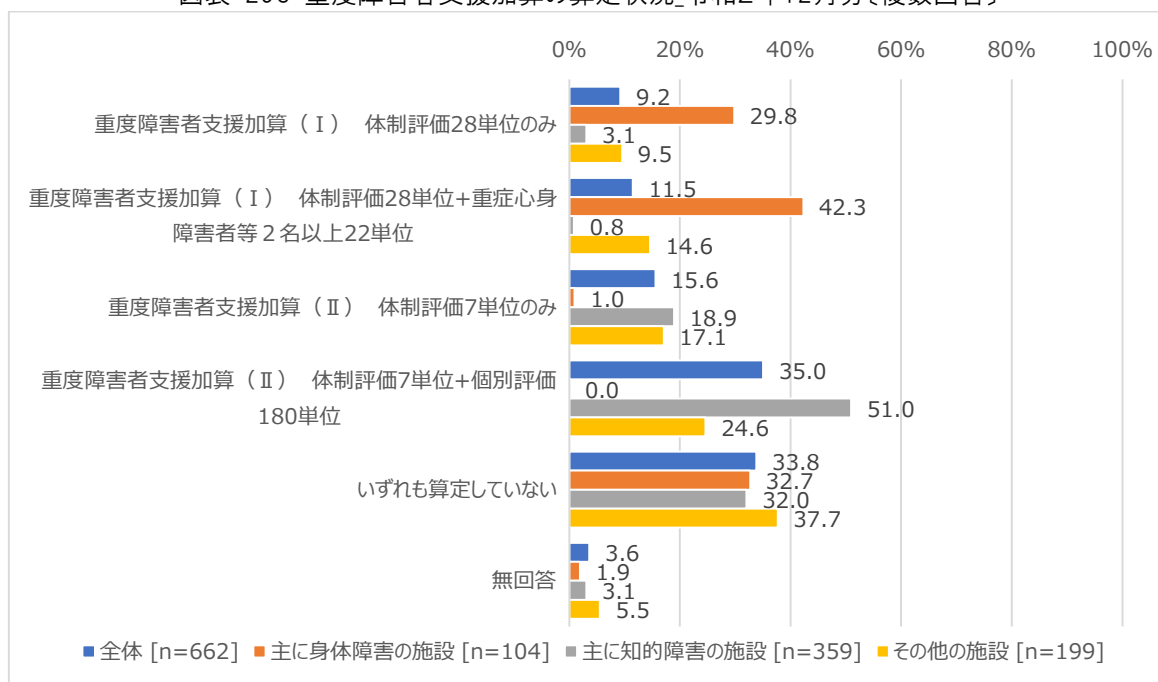
令和3年12月分は、「重度障害者支援加算（Ⅱ）体制評価7単位+個別評価180単位」が37.2%、「いずれも算定していない」が31.9%等となっている。

図表 292 重度障害者支援加算の算定状況_令和3年12月分[複数回答]



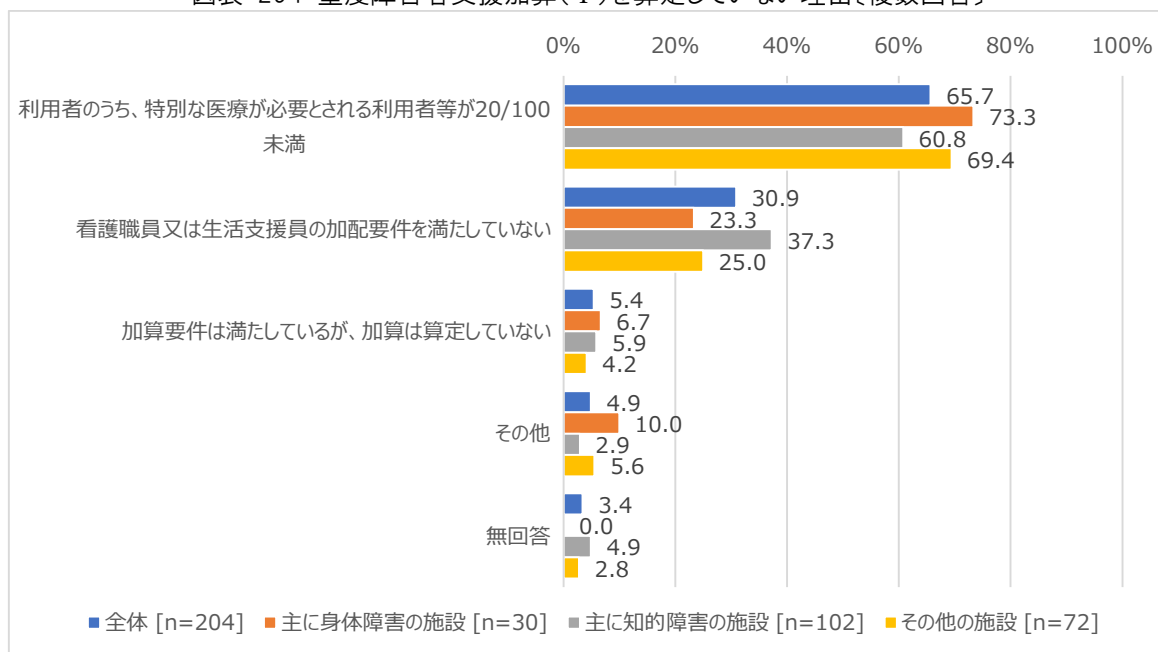
令和2年12月分は、「重度障害者支援加算（Ⅱ） 体制評価7単位+個別評価180単位」が35.0%、「いずれも算定していない」が33.8%等となっている。

図表 293 重度障害者支援加算の算定状況_令和2年12月分〔複数回答〕



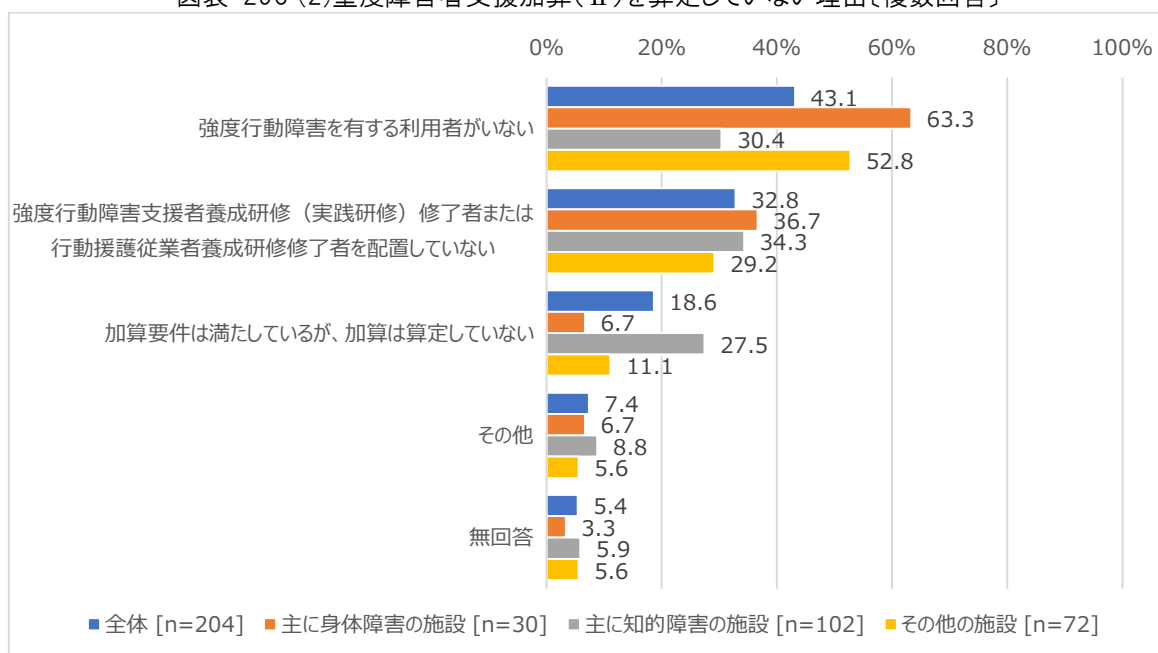
重度障害者支援加算を算定していない施設に、その理由を聞いたところ、加算（Ⅰ）については、「利用者のうち、特別な医療が必要とされる利用者等が20/100未満」が65.7%、「看護職員又は生活支援員の加配要件を満たしていない」が30.9%となっている。

図表 294 重度障害者支援加算（Ⅰ）を算定していない理由〔複数回答〕



加算（Ⅱ）を算定していない理由については、「強度行動障害を有する利用者がいない」が43.1%、「強度行動障害支援者養成研修（実践研修）修了者または行動援護従業者養成研修修了者を配置していない」が32.8%、「加算要件は満たしているが、加算は算定していない」が18.6%となっている。

図表 295 (2)重度障害者支援加算(Ⅱ)を算定していない理由〔複数回答〕



⑭配置医師の人数・勤務日数

配置医師の人数・勤務日数は以下のようにになっている。

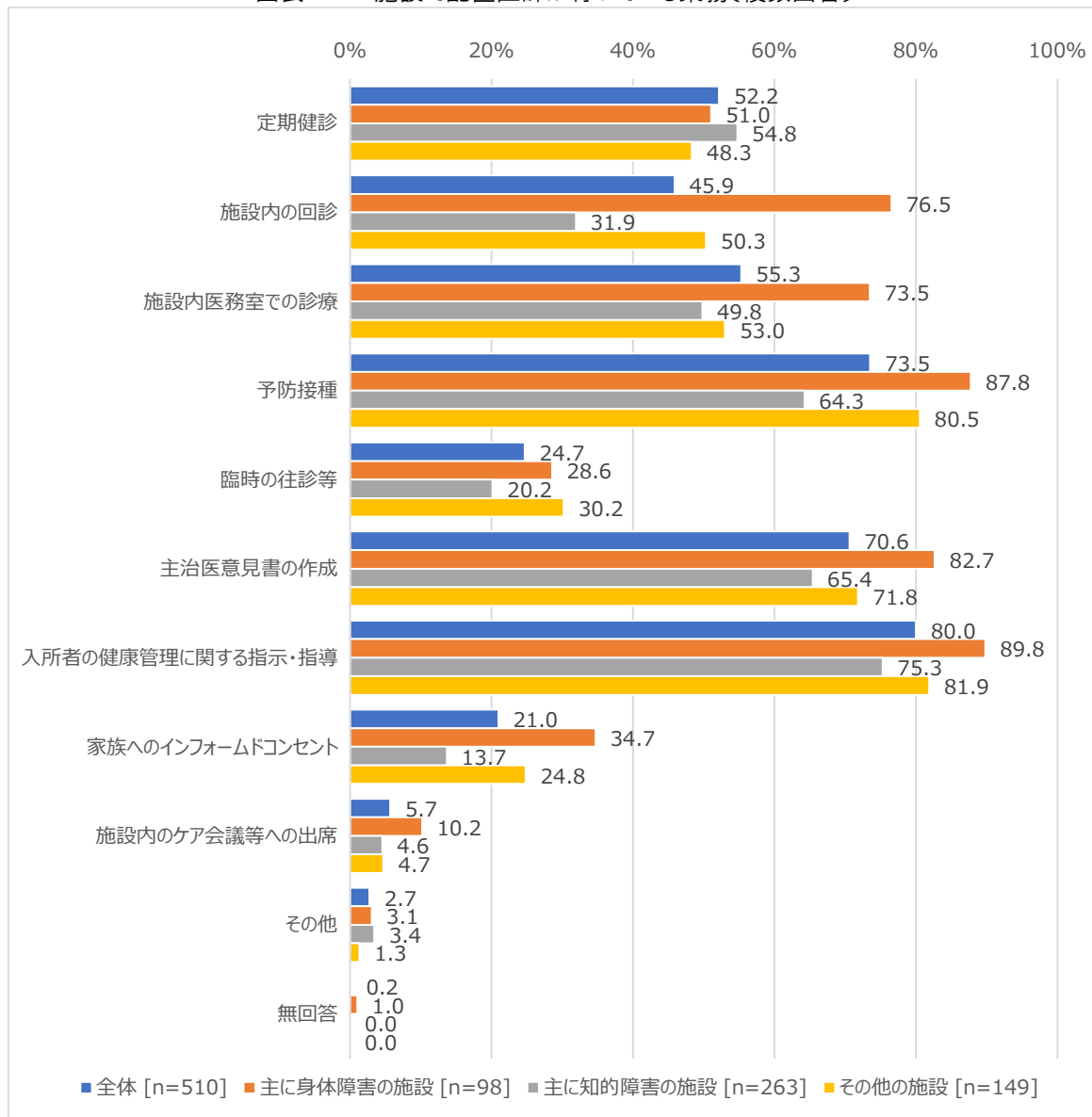
図表 296 配置医師の人数・勤務日数

全体 [n=510]	平均人数 (人)	平均勤務日数 (日/月) (日数合計/人数)
合計	1.5	2.6
うち、常勤	0.0	15.3
うち、非常勤	0.3	3.2
うち、嘱託	1.0	2.4
うち、医療機関との契約による派遣	0.2	1.8

⑮施設で配置医師が行っている業務

施設で配置医師が行っている業務は、「入所者の健康管理に関する指示・指導」が80.0%、「予防接種」が73.5%、「主治医意見書の作成」が70.6%、「施設内医務室での診療」が55.3%、「定期健診」が52.2%等となっている。

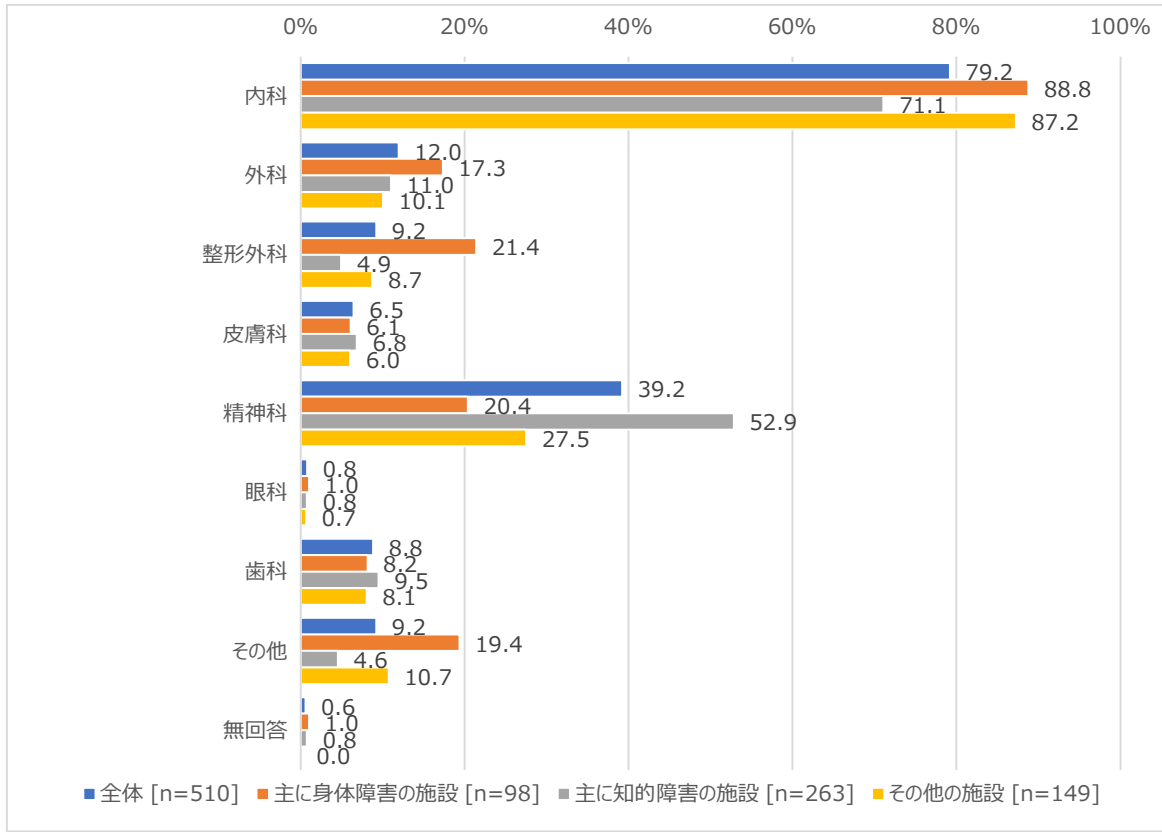
図表 297 施設で配置医師が行っている業務〔複数回答〕



⑩配置医師の診療科目

配置医師の診療科目は、「内科」が79.2%と多くなっている。

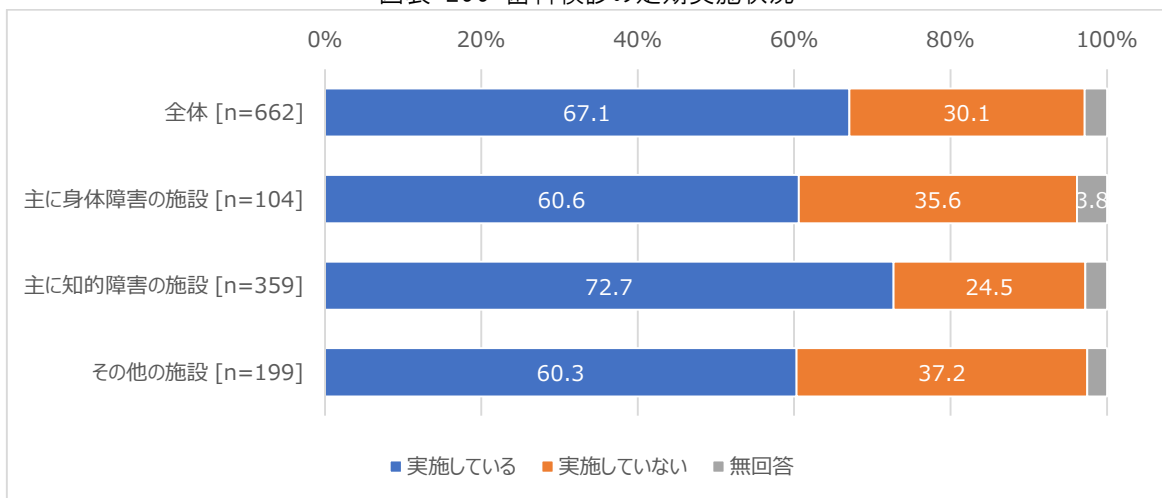
図表 298 配置医師の診療科目〔複数回答〕



⑰歯科検診の定期実施状況

歯科検診の定期実施状況は、「実施している」が67.1%、「実施していない」が30.1%となっている。歯科検診を実施している施設での実施頻度（年間の実施回数）は、平均で7.5回となっている。

図表 299 歯科検診の定期実施状況



(3) 地域移行支援。地域との連携等の状況

①施設退所者の退所理由・退所後の住まい別人数

令和4年1月～12月の1年間における施設退所者について、退所理由・退所後の住まい別の人数を聞いたところ、平均で2.6人、内訳は死亡退所が多くなっている。

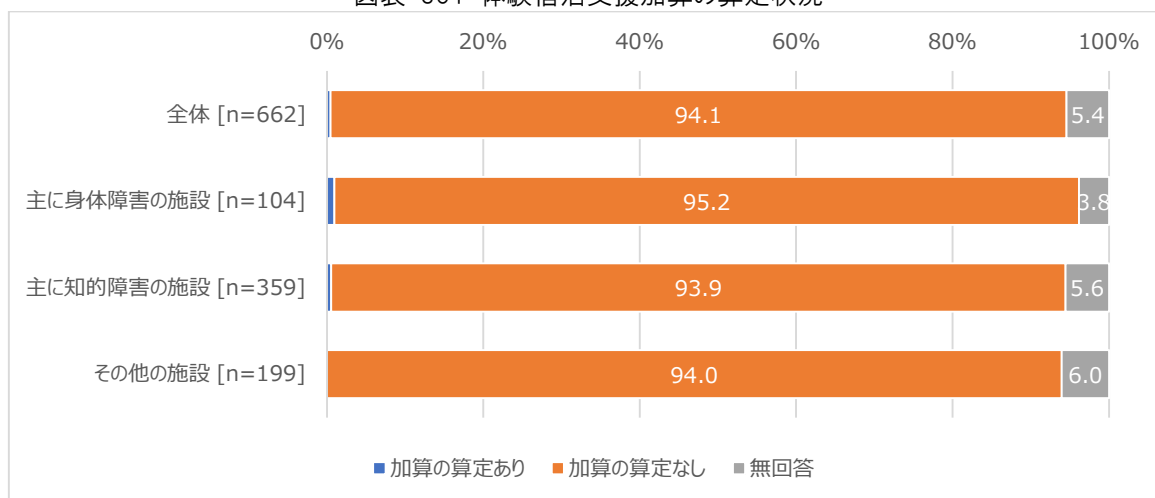
図表 300 施設退所者の退所理由・退所後の住まい別人数

(人)	全体 [n=659]	主に身体障害の施設 [n=103]	主に知的障害の施設 [n=357]	その他の施設 [n=199]
自宅・アパート等	0.2	0.3	0.1	0.2
グループホーム（共同生活援助）	0.2	0.1	0.3	0.3
福祉ホーム	0.0	-	0.0	0.0
入所施設	0.3	0.3	0.4	0.3
入院	0.6	1.3	0.4	0.7
死亡	1.1	2.3	0.7	1.3
その他	0.1	0.1	0.1	0.1
合計	2.6	4.4	1.9	3.0

②体験宿泊支援加算の算定状況

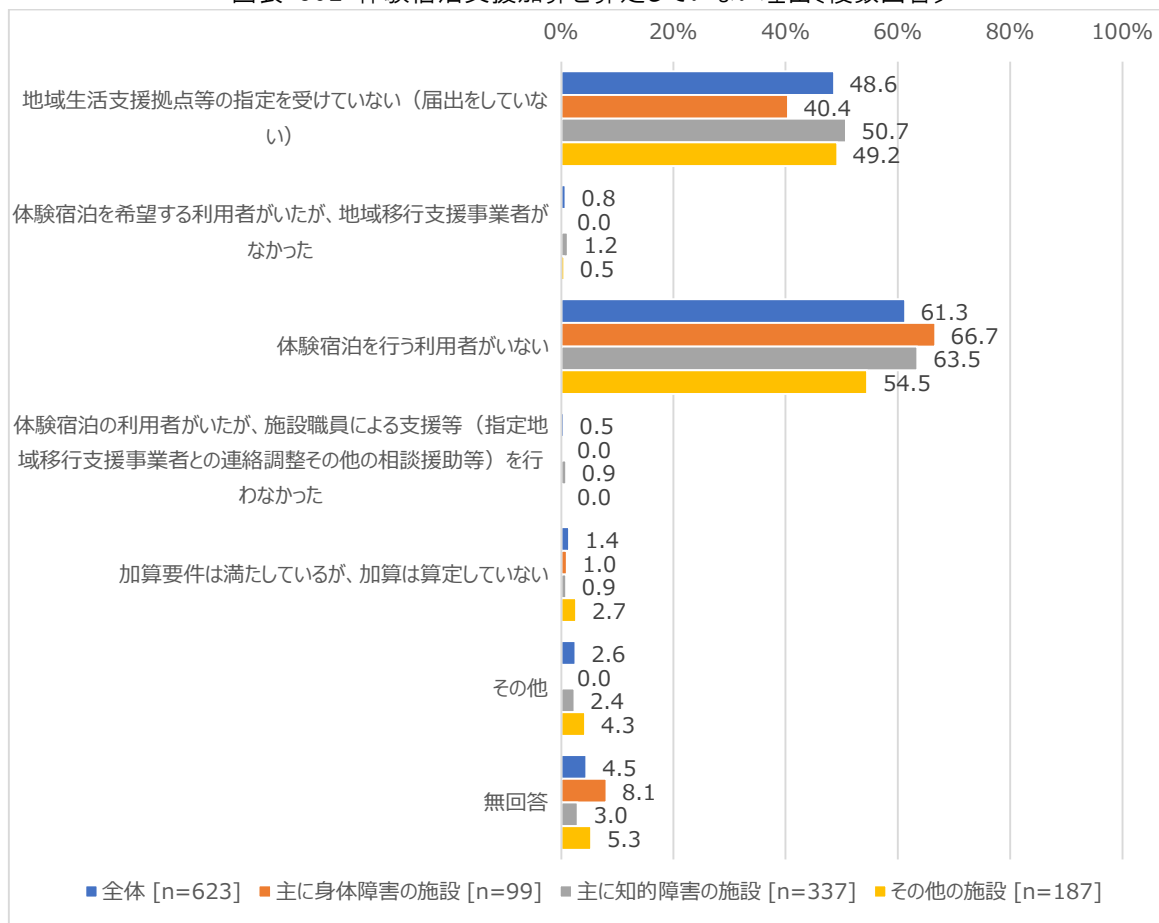
体験宿泊支援加算の算定状況は、「加算の算定なし」が94.1%となっている。

図表 301 体験宿泊支援加算の算定状況



体験宿泊支援加算を算定していない施設に、その理由を聞いたところ、「体験宿泊を行う利用者がいない」が61.3%、「地域生活支援拠点等の指定を受けていない（届出をしていない）」が48.6%等となっている。

図表 302 体験宿泊支援加算を算定していない理由〔複数回答〕

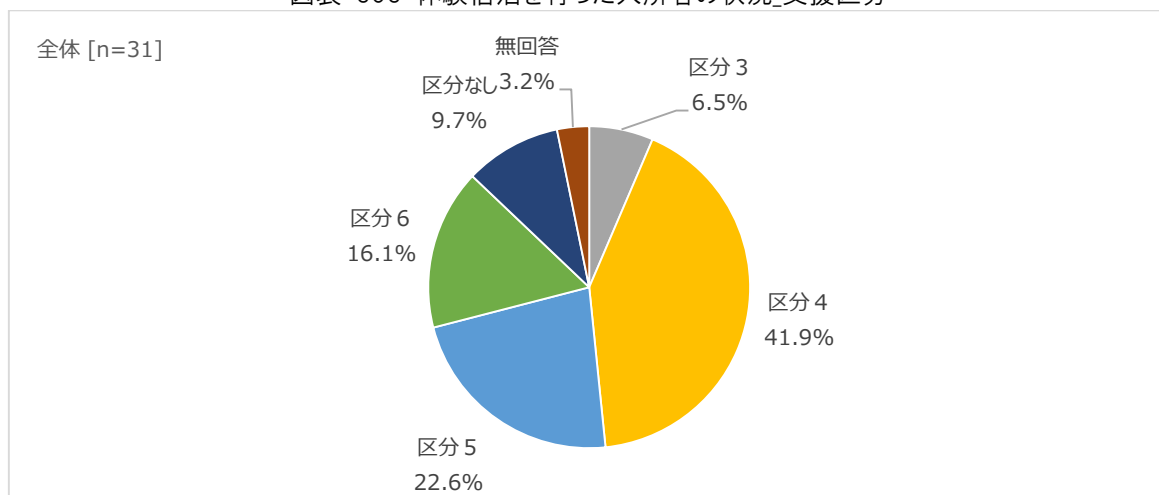


③体験宿泊を行った入所者の状況

体験宿泊を行った入所者の状況について聞いた。令和4年1月～令和4年12月の1年間で体験宿泊を行った人について聞いたところ、全体で31人分の回答があった（1施設あたりの平均0.05人）。

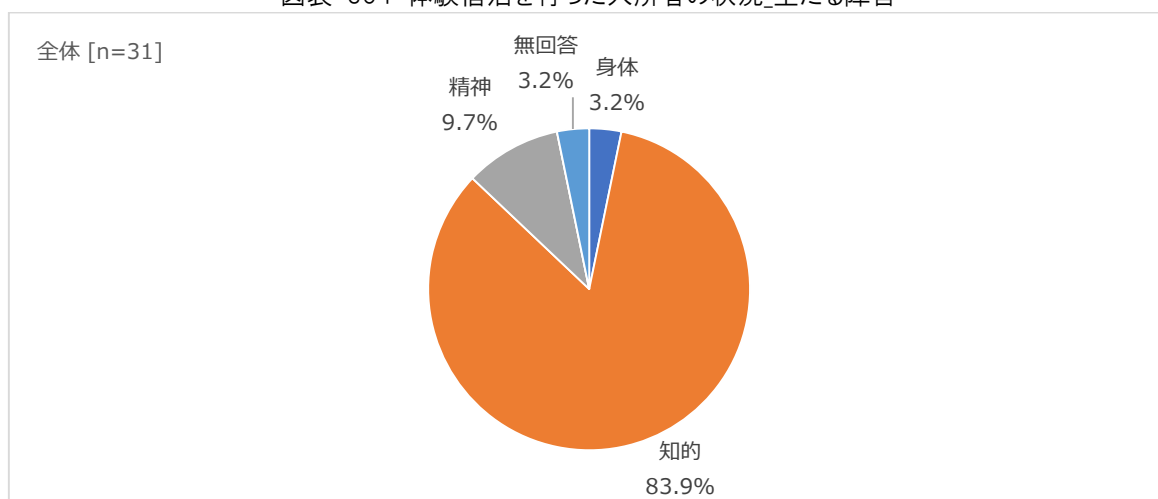
該当者の年齢は平均で40.1歳となっている。支援区分は、「区分4」が41.9%、「区分5」が22.6%となっている。

図表 303 体験宿泊を行った入所者の状況_支援区分



主たる障害は、「知的」が83.9%となっている。

図表 304 体験宿泊を行った入所者の状況_主たる障害



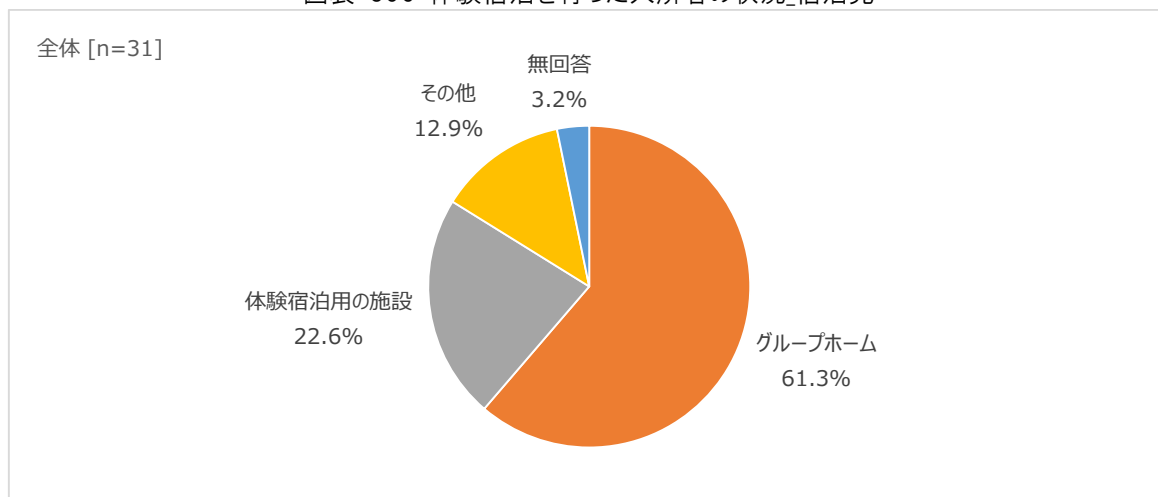
体験宿泊の期間（宿泊数）は、平均で6.4泊となっている。

図表 305 体験宿泊を行った入所者の状況_体験宿泊の期間(宿泊数)

	全体 [n=31]
平均宿泊期間 (泊)	6.4

宿泊先は、「グループホーム」が61.3%、「体験宿泊用の施設」が22.6%となっている。

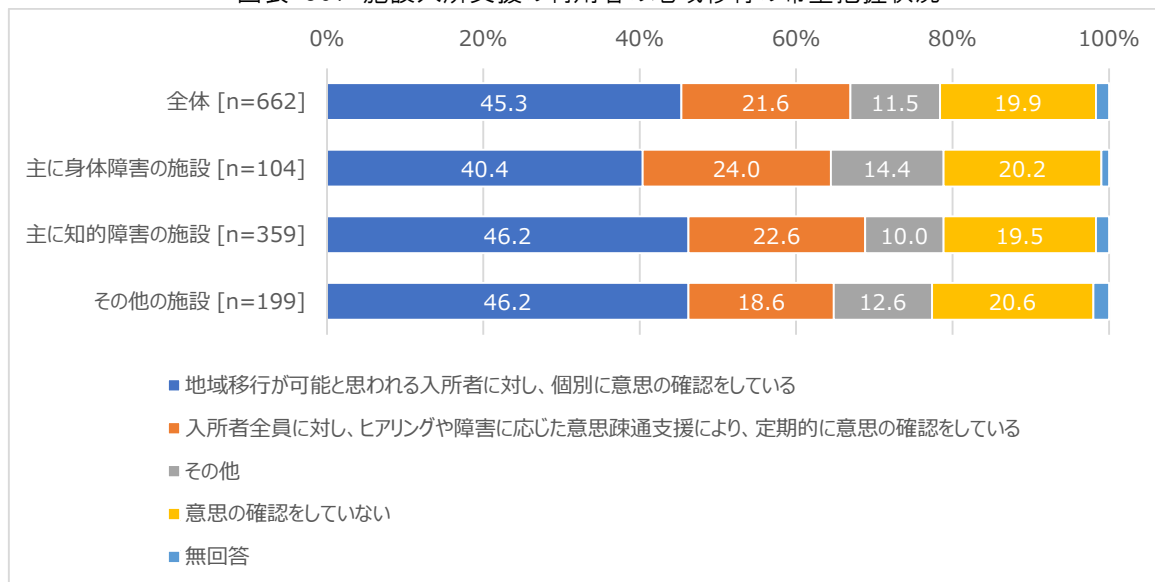
図表 306 体験宿泊を行った入所者の状況_宿泊先



④施設入所支援の利用者の地域移行の希望把握状況

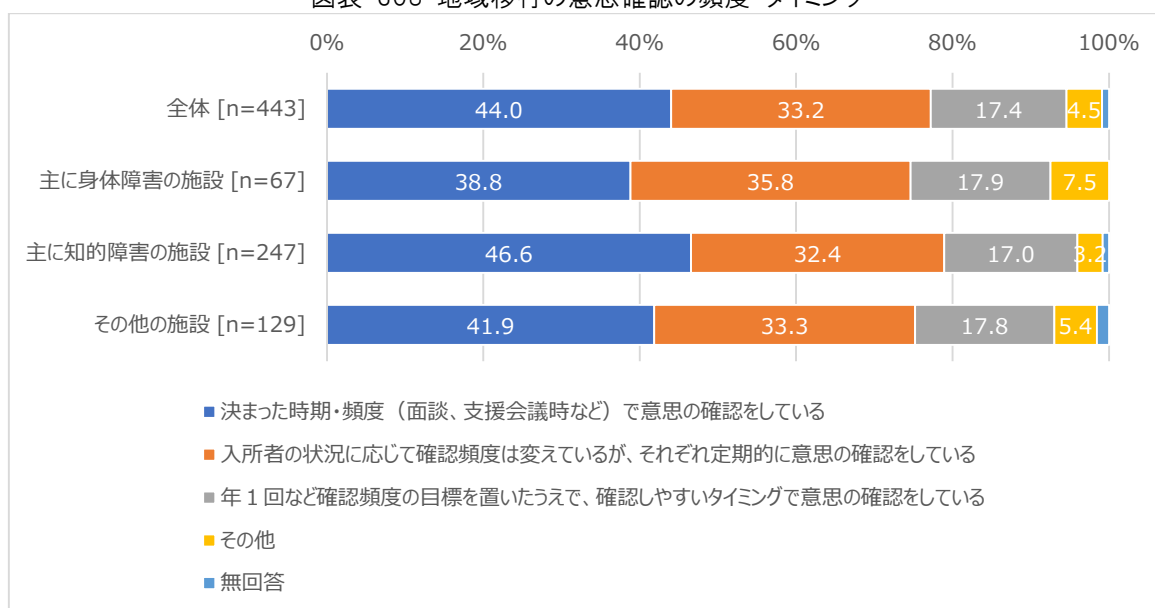
施設入所支援の利用者の地域移行の希望把握状況について聞いたところ、「地域移行が可能と思われる入所者に対し、個別に意思の確認をしている」が45.3%、「入所者全員に対し、ヒアリングや障害に応じた意思疎通支援により、定期的に意思の確認をしている」が21.6%、「意思の確認をしていない」が19.9%となっている。

図表 307 施設入所支援の利用者の地域移行の希望把握状況



意思確認をしている施設に、地域移行の意思確認の頻度・タイミングを聞いたところ、「決まった時期・頻度（面談、支援会議時など）で意思の確認をしている」が44.0%、「入所者の状況に応じて確認頻度は変えているが、それぞれ定期的に意思の確認をしている」が33.2%、「年1回など確認頻度の目標を置いたうえで、確認しやすいタイミングで意思の確認をしている」が17.4%となっている。

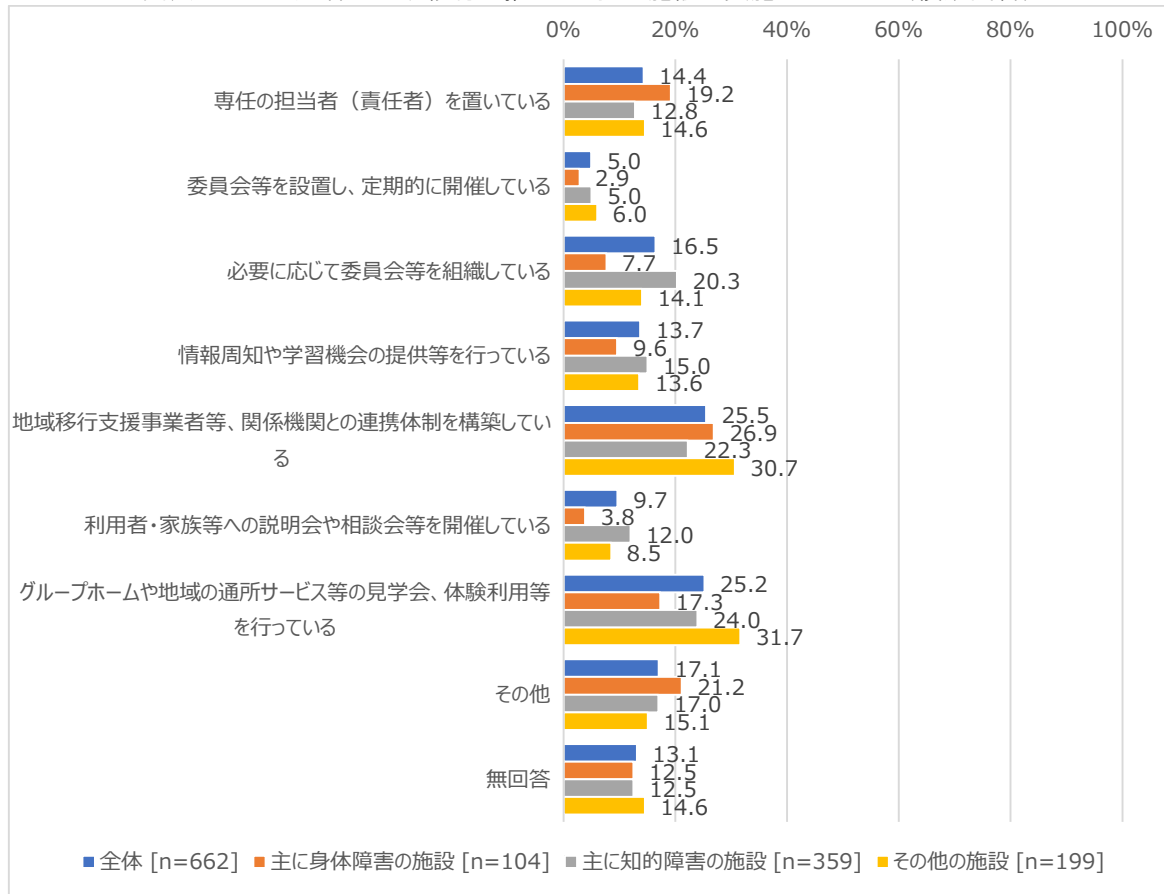
図表 308 地域移行の意思確認の頻度・タイミング



⑤利用者の地域移行の推進に関して施設で実施していること

利用者の地域移行の推進に関して施設で実施していることは、「地域移行支援事業者等、関係機関との連携体制を構築している」が25.5%、「グループホームや地域の通所サービス等の見学会、体験利用等を行っている」が25.2%等となっている。

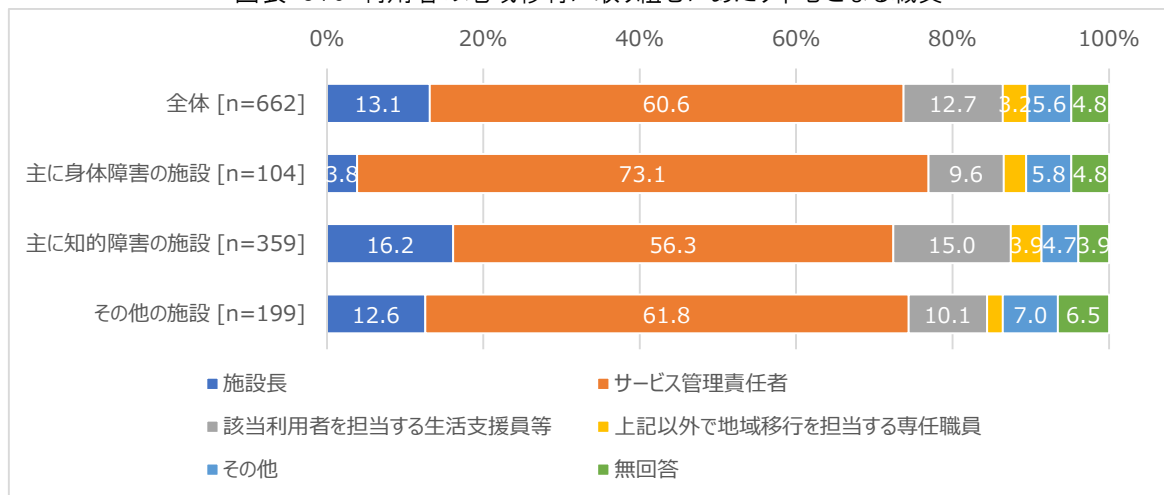
図表 309 利用者の地域移行の推進に関して施設で実施していること〔複数回答〕



⑥利用者の地域移行に取り組むにあたり中心となる職員

利用者の地域移行に取り組むにあたり中心となる職員は、「サービス管理責任者」が60.6%と多くなっている。

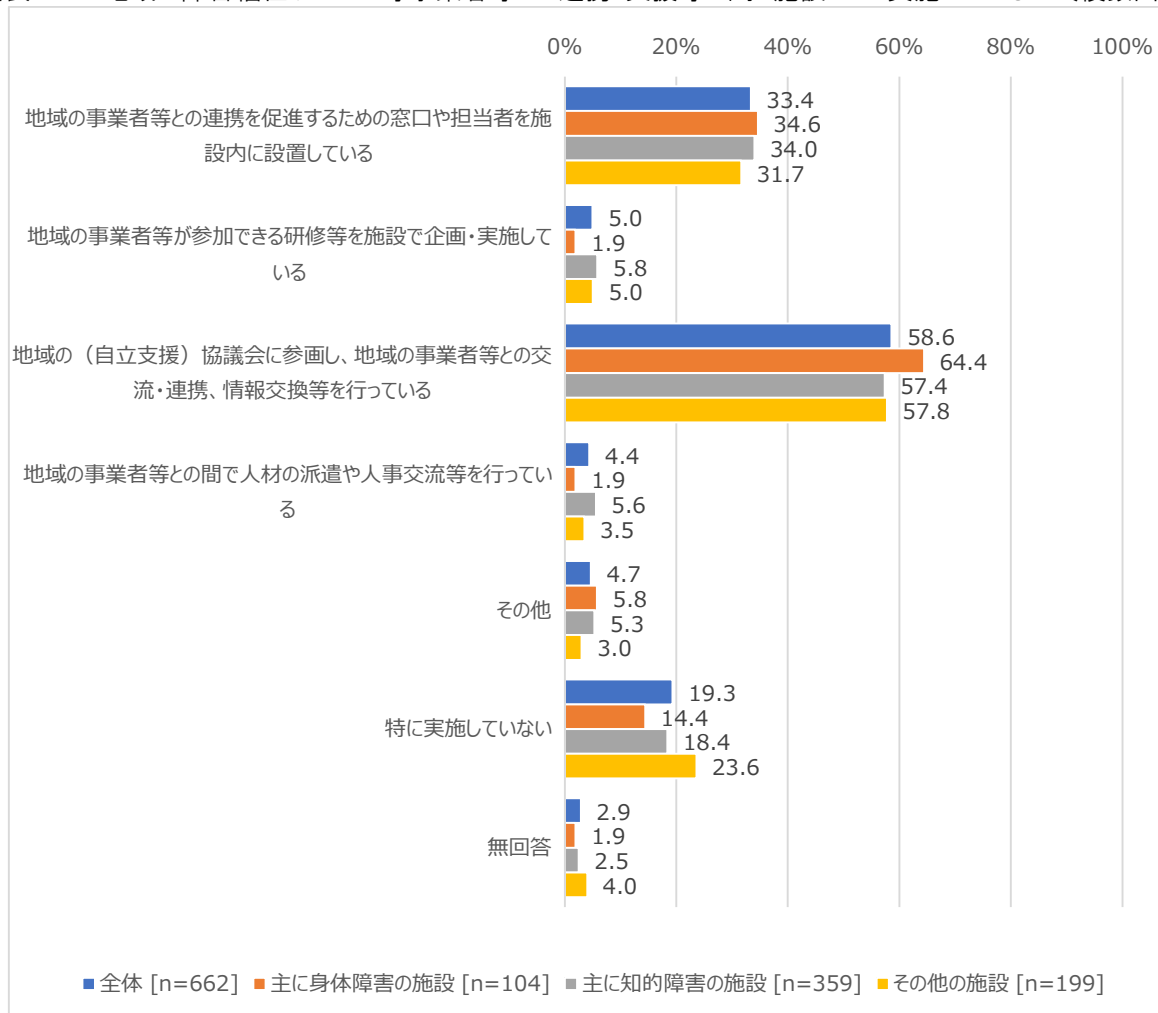
図表 310 利用者の地域移行に取り組むにあたり中心となる職員



⑦地域の事業者等との連携・支援等に関し施設として実施していること

地域の障害福祉サービス等事業者等との連携・支援等に関し施設として実施していることについては、「地域の（自立支援）協議会に参画し、地域の事業者等との交流・連携、情報交換等を行っている」が58.6%、「地域の事業者等との連携を促進するための窓口や担当者を施設内に設置している」が33.4%等となっている。

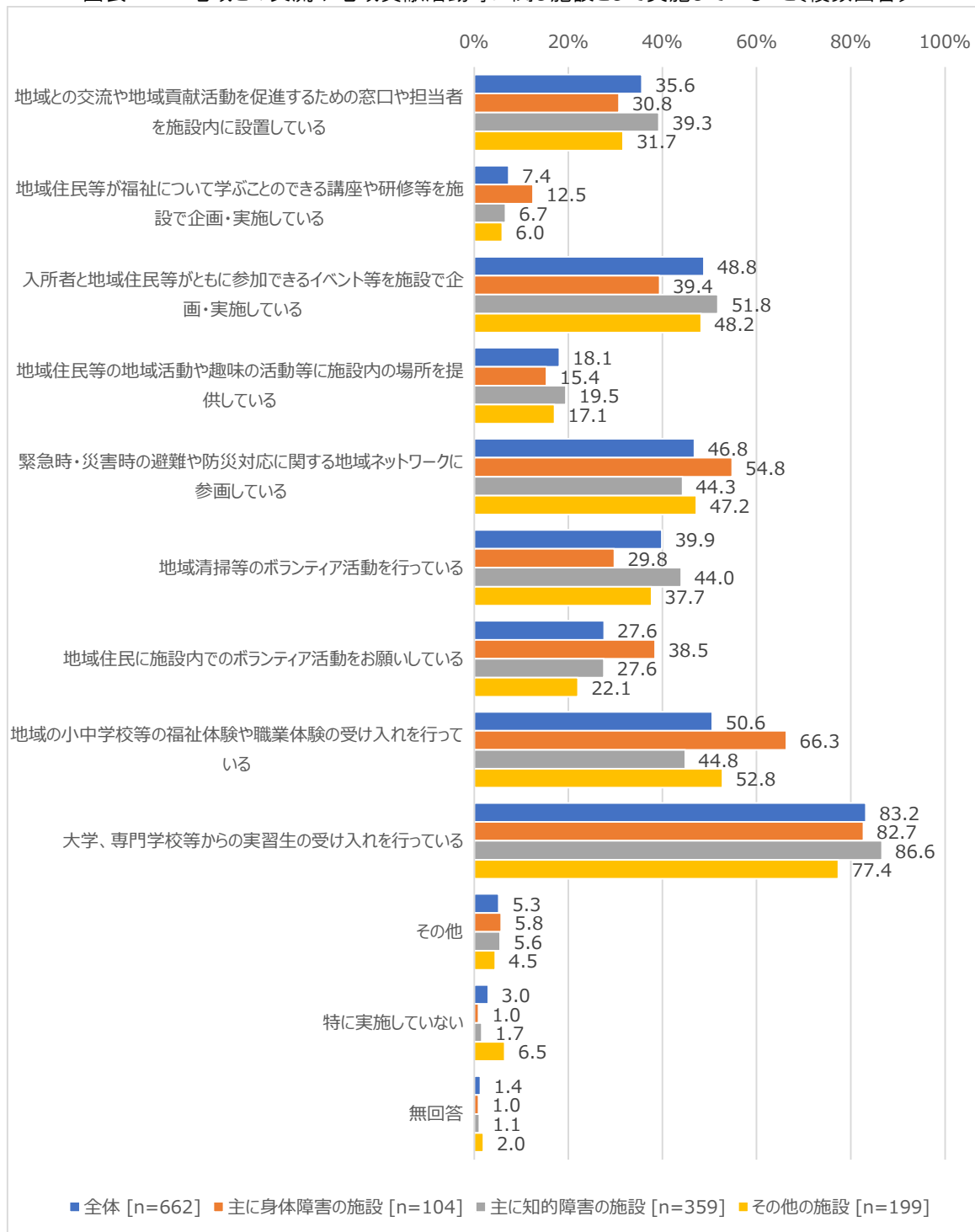
図表 311 地域の障害福祉サービス等事業者等との連携・支援等に関し施設として実施していること〔複数回答〕



⑧地域との交流や地域貢献活動等に関し施設として実施していること

地域との交流や地域貢献活動等に関し施設として実施していることを聞いたところ、「大学、専門学校等からの実習生の受け入れを行っている」が83.2%、「地域の小中学校等の福祉体験や職業体験の受け入れを行っている」が50.6%、「入所者と地域住民等がともに参加できるイベント等を施設で企画・実施している」が48.8%、「緊急時・災害時の避難や防災対応に関する地域ネットワークに参画している」が46.8%等となっている。

図表 312 地域との交流や地域貢献活動等に関し施設として実施していること〔複数回答〕

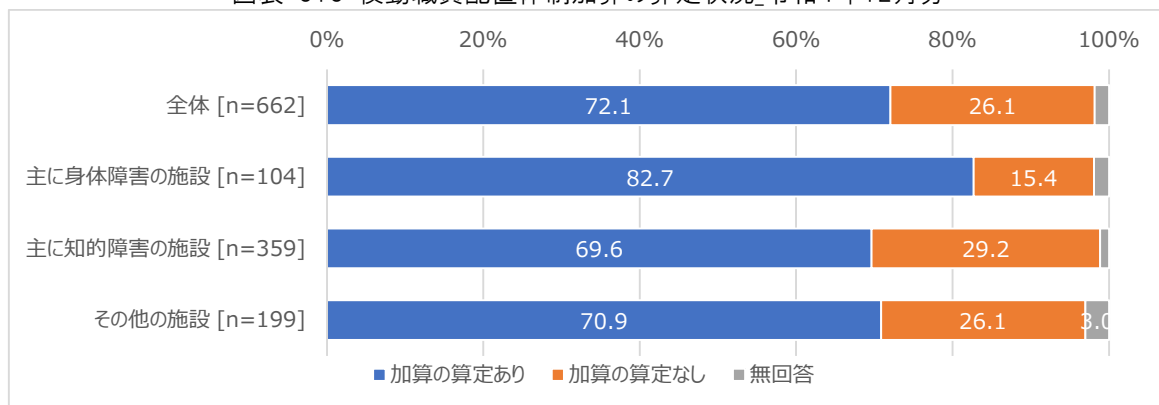


(4) 夜間・休日の体制等の状況

①夜勤職員配置体制加算の算定状況

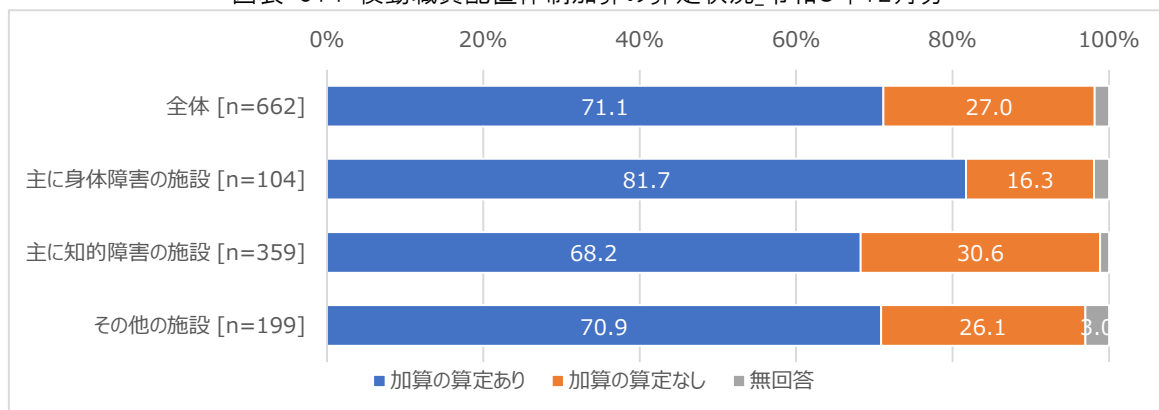
夜勤職員配置体制加算の算定状況について聞いたところ、令和4年12月分は、「加算の算定あり」が72.1%、「加算の算定なし」が26.1%となっている。

図表 313 夜勤職員配置体制加算の算定状況_令和4年12月分



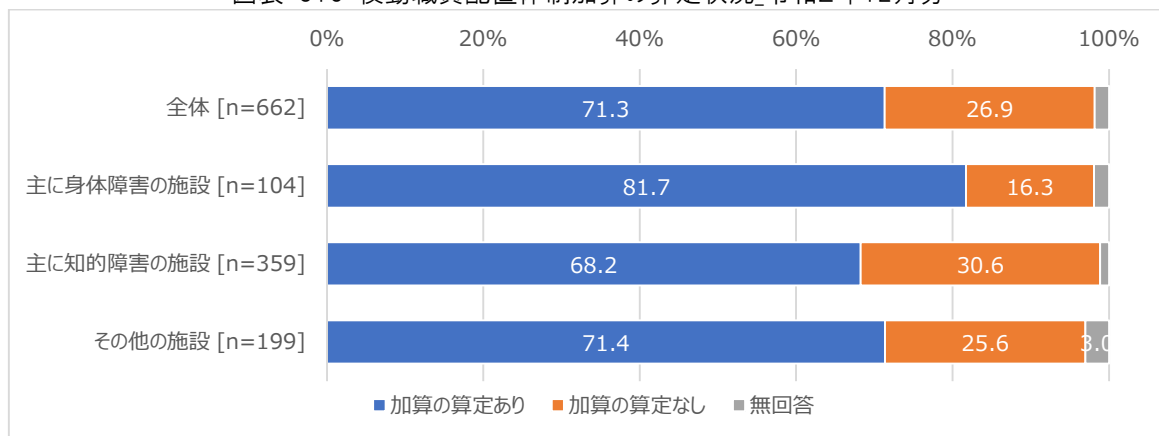
令和3年12月分は、「加算の算定あり」が71.1%、「加算の算定なし」が27.0%となっている。

図表 314 夜勤職員配置体制加算の算定状況_令和3年12月分



令和2年12月分は、「加算の算定あり」が71.3%、「加算の算定なし」が26.9%となっている。

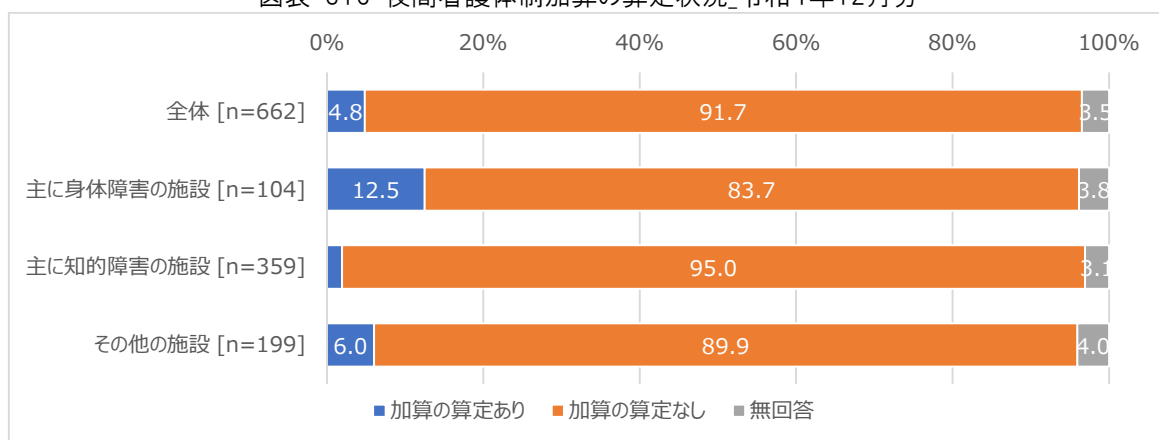
図表 315 夜勤職員配置体制加算の算定状況_令和2年12月分



②夜間看護体制加算の算定状況

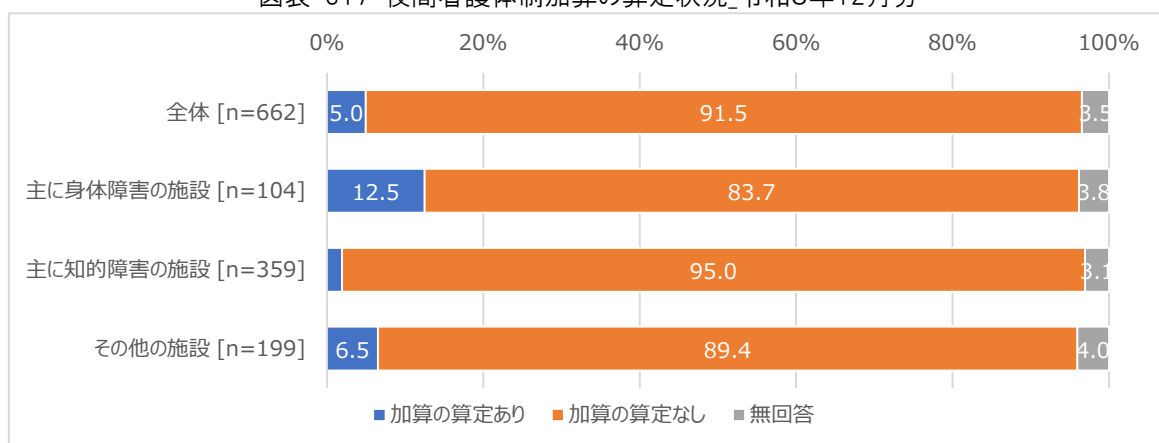
夜間看護体制加算の算定状況について聞いたところ、令和4年12月分は、「加算の算定なし」が91.7%、「加算の算定あり」が4.8%となっている。

図表 316 夜間看護体制加算の算定状況_令和4年12月分



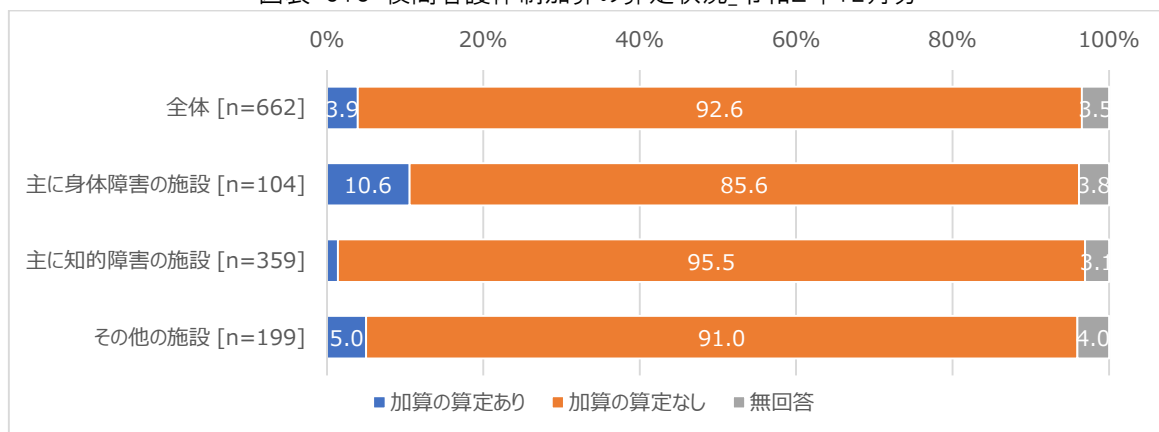
令和3年12月分は、「加算の算定なし」が91.5%、「加算の算定あり」が5.0%となっている。

図表 317 夜間看護体制加算の算定状況_令和3年12月分



令和2年12月分は、「加算の算定なし」が92.6%、「加算の算定あり」が3.9%となっている。

図表 318 夜間看護体制加算の算定状況_令和2年12月分



③施設入所支援の時間帯における職員配置

令和4年12月1日夜から2日朝にかけての、施設入所支援の時間帯における職員配置について聞いたところ、延べ職員数は平均8.7人、延べ勤務時間は平均3,052.8分となっている。

図表 319 施設入所支援の時間帯における職員配置の延べ人数、延べ勤務時間

全体 [n=562]	延べ職員数 (人)	延べ勤務時間 (分)
合計	8.7	3,052.8
うち、生活支援員	6.8	2,545.3
うち、生活支援員で12月1日の昼間実施サービスを兼務した者	3.1	693.0
うち、看護職員	0.6	100.0
うち、看護職員で12月1日の昼間実施サービスを兼務した者	0.4	68.4
うち、その他の職員（生活支援員、看護職員以外）	1.2	183.6
うち、その他の職員（生活支援員、看護職員以外）で12月1日の昼間実施サービスを兼務した者	0.8	105.2

④施設入所支援の時間帯におけるたんの吸引等の実施回数

令和4年12月1日夜から2日朝にかけての施設入所支援の時間帯におけるたんの吸引等の実施回数は、以下のようになっている。

図表 320 施設入所支援の時間帯におけるたんの吸引等の実施回数

全体 [n=620]	たんの吸引	経管栄養
たんの吸引等を行った実利用者数（人）	0.2	0.4
たんの吸引等を行った回数（回）	0.6	0.9
うち、看護師が実施	0.4	0.6
うち、認定特定行為業務従事者が実施	0.2	0.2
うち、介護福祉士が実施	0.1	0.2

⑤施設入所支援の時間帯における業務の実施回数

令和4年12月1日夜から2日朝にかけての施設入所支援の時間帯における業務の実施回数は、以下のようになっている。

図表 321 施設入所支援の時間帯における業務の実施回数

全体 [n=603]	実利用者数 (人)	実施回数 (回)
食事介助	18.2	34.3
排泄介助	23.2	74.8
服薬介助	32.7	73.6
体位交換	4.9	16.2
バイタルチェック	25.2	38.0
巡視		3.8
その他	1.0	1.9

⑥昼間実施サービスを兼務する職員が夜勤を行った回数

令和4年12月において、昼間実施サービスを兼務する職員が夜勤を行った回数を聞いたところ、平均で実職員数19.5人、夜勤回数59.3回となっている。

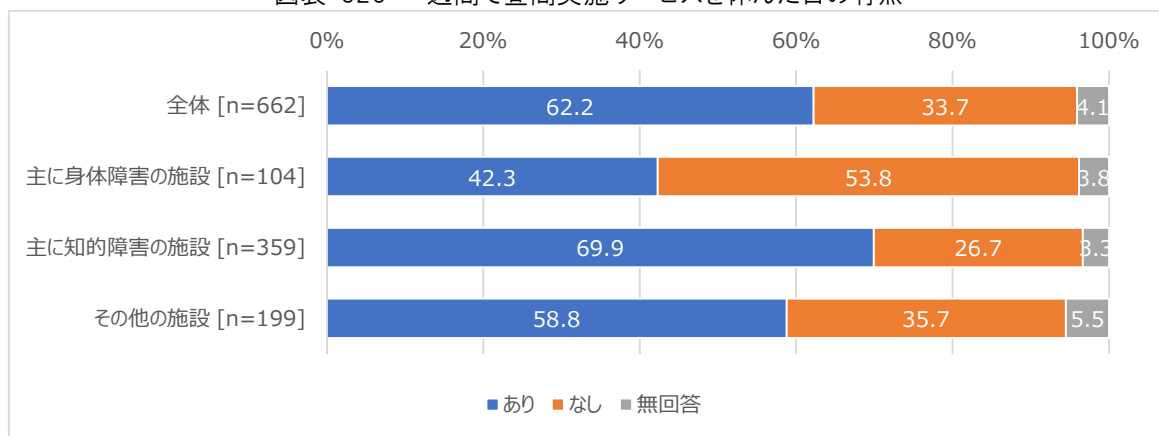
図表 322 昼間実施サービスを兼務する職員が夜勤を行った回数

全体 [n=634]	実職員数 (人)	常勤換算数 (人)	夜勤回数 (回)
生活支援員	19.5	15.9	59.3
看護職員	0.6	0.5	1.0
その他の職員（生活支援員、看護職員以外）	0.8	0.6	1.1

⑦一週間で昼間実施サービスを休んだ日の有無

令和4年12月1日～7日の一週間で昼間実施サービスを休んだ日があるかどうかを聞いたところ、「あり」が62.2%、「なし」が33.7%となっている。

図表 323 一週間で昼間実施サービスを休んだ日の有無



⑧昼間実施サービスを休んだ日の職員・利用者の状況

昼間実施サービスを休んだ日のある施設に、休日の職員・利用者の状況を聞いた。

休日の職員配置は、平均で生活支援員の実職員数10.5人等となっている。

図表 324 昼間実施サービスを休んだ日の職員配置

全体 [n=402]	実職員数 (人)	常勤換算数 (人)
生活支援員	10.5	9.7
看護職員	0.5	0.5
その他の職員 (生活支援員、看護職員以外)	1.0	0.9

昼間実施サービスを休んだ日の入所者の主な活動状況別延べ人数は、「居室内での静養」が多くなっている。

図表 325 昼間実施サービスを休んだ日の入所者の主な活動状況別延べ人数

(人)	全体 [n=406]	主に身体障害の施設 [n=44]	主に知的障害の施設 [n=248]	その他の施設 [n=114]
一時帰宅	1.2	0.3	1.5	1.0
通院	0.1	-	0.1	0.1
施設外での余暇活動 (余暇としての買物や散歩等)	4.0	0.3	4.9	3.5
施設内での余暇活動 (地域住民との交流会等)	8.5	2.8	11.0	5.5
昼間実施サービスと同様の活動	13.3	23.7	11.4	13.6
居室内での静養	16.4	20.8	14.7	18.4
その他	3.9	1.0	3.7	5.4

昼間実施サービスを休んだ日の、たんの吸引等の実施回数は、以下のようになっている。

図表 326 昼間実施サービスを休んだ日の、たんの吸引等の実施回数

全体 [n=397]	たんの吸引	経管栄養
たんの吸引等を行った実利用者数 (人)	0.3	0.5
たんの吸引等を行った回数 (回)	0.7	1.2
うち、看護師が実施	0.5	0.9
うち、認定特定行為業務従事者が実施	0.1	0.2
うち、介護福祉士が実施	0.1	0.1

昼間実施サービスを休んだ日の業務の実施回数は、以下のようになっている。

図表 327 昼間実施サービスを休んだ日の業務の実施回数

全体 [n=358]	実利用者数 (人)	実施回数 (回)
食事介助	20.5	41.0
排泄介助	21.4	80.3
服薬介助	32.0	65.8
体位交換	2.9	8.5
バイタルチェック	28.5	47.7
巡視		1.8
その他	1.5	2.3

(5) 入所者の高齢化等の状況について

①加齢にともなう心身機能の低下の見られる利用者の人数

加齢にともなう心身機能の低下の見られる利用者の人数を聞いたところ、平均で22.9人となっている。

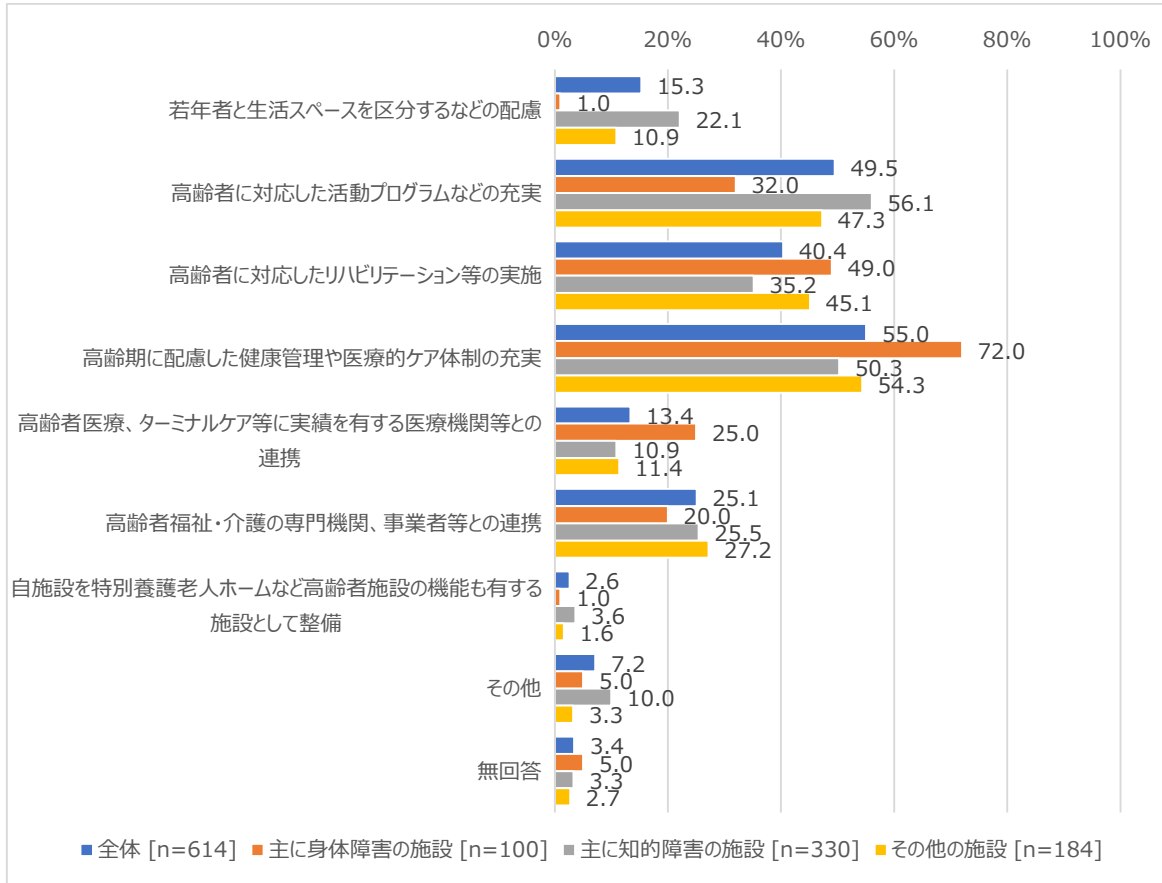
図表 328 加齢にともなう心身機能の低下の見られる利用者の人数

全体 [n=662] (人)	総数	うち、強度行 動障害を有 する者	うち、重症心 身障害者	うち、医療的 ケアを要する 者(重心以 外)
40歳未満	2.0	0.7	0.2	0.1
40歳以上50歳未満	3.3	1.3	0.3	0.3
50歳以上65歳未満	9.0	2.1	0.8	1.0
65歳以上	8.5	1.0	0.8	1.3
合計	22.9	5.0	2.2	2.7

②入所者の高齢化への対応状況

入所者の高齢化への対応状況を聞いたところ、「高齢期に配慮した健康管理や医療的ケア体制の充実」が55.0%、「高齢者に対応した活動プログラムなどの充実」が49.5%、「高齢者に対応したリハビリテーション等の実施」が40.4%等となっている。

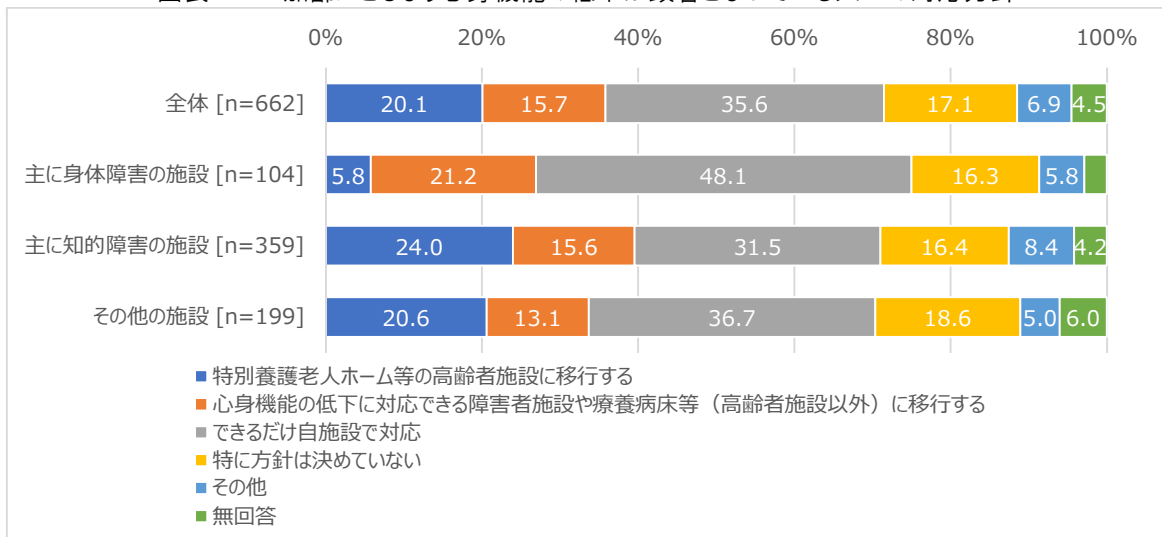
図表 329 入所者の高齢化への対応状況〔複数回答〕



③加齢にともなう心身機能の低下が顕著となっている人への対応方針

加齢にともなう心身機能の低下が顕著となっている人への対応方針は、「できるだけ自施設で対応」が35.6%、「特別養護老人ホーム等の高齢者施設に移行する」が20.1%となっている。

図表 330 加齢にともなう心身機能の低下が顕著となっている人への対応方針



④他の施設等に移行を申し込んだ人数

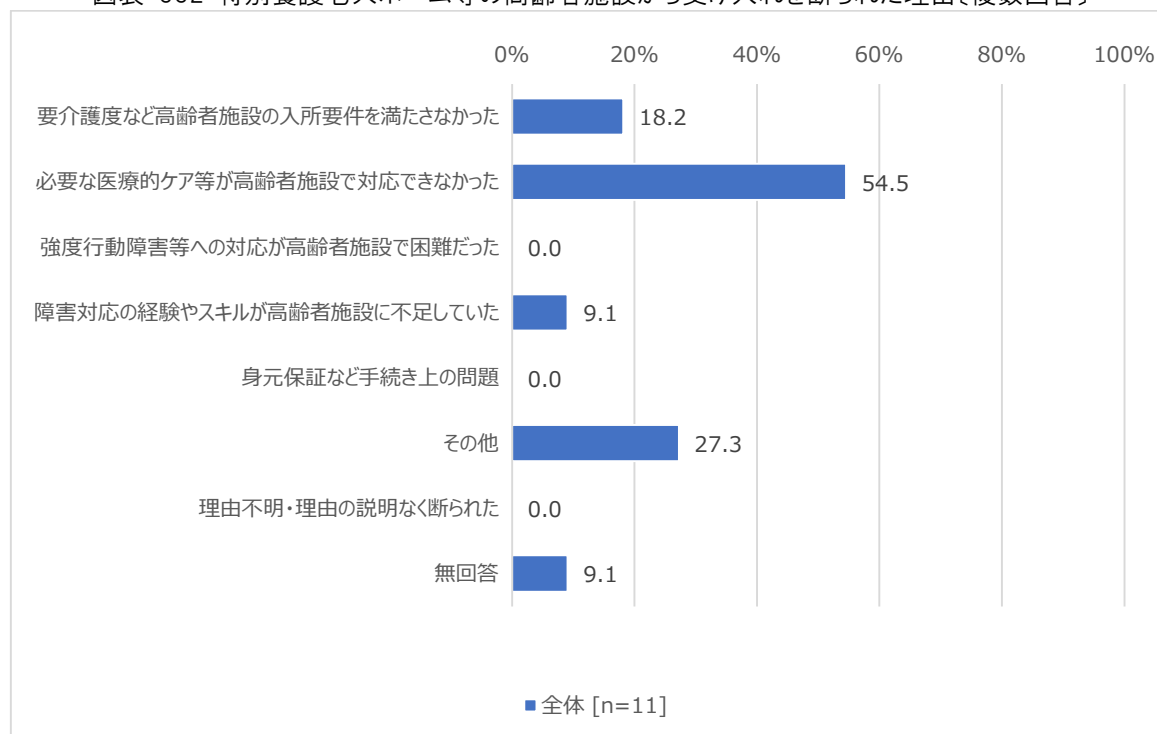
加齢にともなう心身機能の低下のために、他の施設等に移行を申し込んだ人数を聞いたところ、特別養護老人ホーム等の高齢者施設に移行を申し込んだ人数は平均で0.3人、他の障害者施設や療養病床等に移行を申し込んだ人数は平均で0.4人となっている。

図表 331 加齢にともなう心身機能の低下のために他の施設等に移行を申し込んだ人数

(人)		全体 [n=662]	主に身体障害の施設 [n=104]	主に知的障害の施設 [n=359]	その他の施設 [n=199]
特別養護老人ホーム等の高齢者施設に移行を申し込んだ人数	合計	0.3	0.2	0.3	0.3
	うち、移行した人数	0.2	0.0	0.2	0.2
	うち、待機者数	0.1	0.1	0.1	0.1
	うち、受け入れを断られた人数	0.0	0.0	0.0	0.0
他の障害者施設や療養病床等に移行を申し込んだ人数	合計	0.4	0.6	0.4	0.4
	うち、移行した人数	0.3	0.5	0.3	0.3
	うち、待機者数	0.0	0.1	0.0	0.0
	うち、受け入れを断られた人数	0.0	0.0	0.0	0.0

特別養護老人ホーム等の高齢者施設に移行を申し込んだが、受け入れを断られた事例のある施設に、その理由を聞いたところ、「必要な医療的ケア等が高齢者施設で対応できなかった」が54.5%となっている。

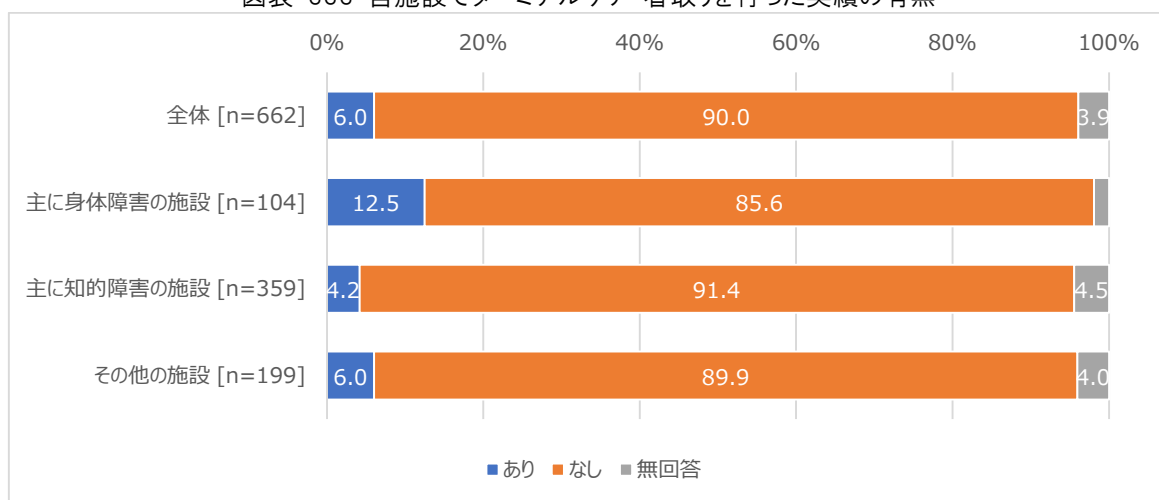
図表 332 特別養護老人ホーム等の高齢者施設から受け入れを断られた理由〔複数回答〕



⑤自施設でターミナルケア・看取りを行った実績

自施設でターミナルケア・看取りを行った実績の有無を聞いたところ、「なし」が90.0%、「あり」が6.0%となっている。

図表 333 自施設でターミナルケア・看取りを行った実績の有無



自施設でターミナルケア・看取りを行った実績のある施設に、1年間のターミナルケア・看取りの件数を聞いたところ、平均で1.8回となっている。

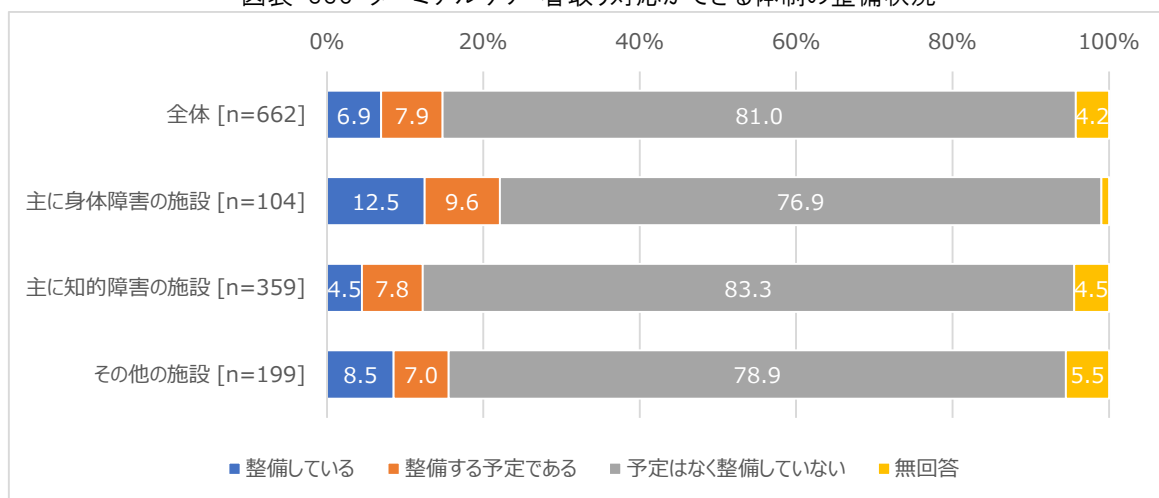
図表 334 ターミナルケア・看取りの件数

	全体 [n=37]	主に身体障害の施設 [n=11]	主に知的障害の施設 [n=15]	その他の施設 [n=11]
平均件数 (回)	1.8	1.8	2.1	1.4

⑥ターミナルケア・看取り対応ができる体制の整備状況

ターミナルケア・看取り対応ができる体制の整備状況は、「予定はなく整備していない」が81.0%となっている。

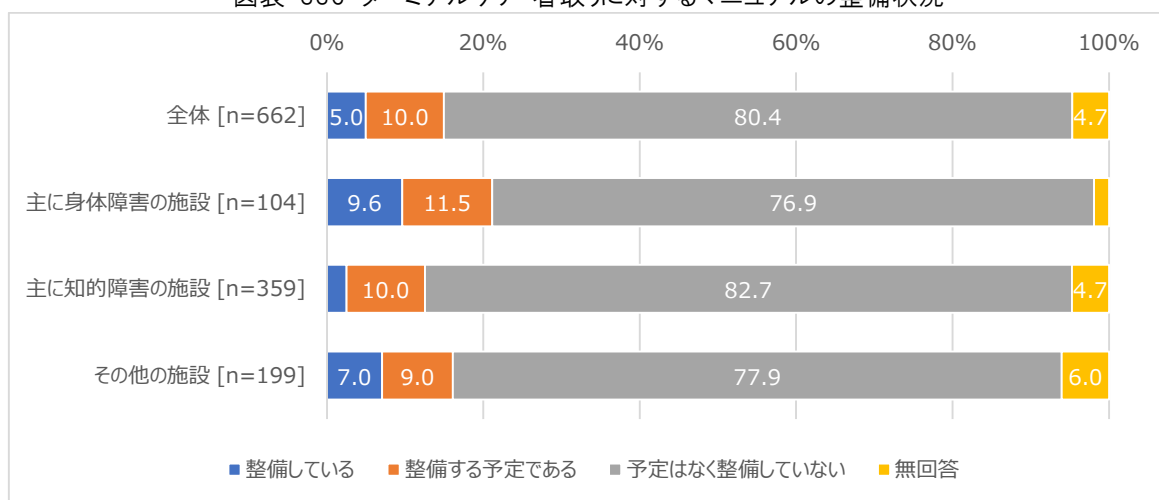
図表 335 ターミナルケア・看取り対応ができる体制の整備状況



⑦ターミナルケア・看取りに対するマニュアルの整備状況

ターミナルケア・看取りに対するマニュアルの整備状況は、「予定はなく整備していない」が80.4%となっている。

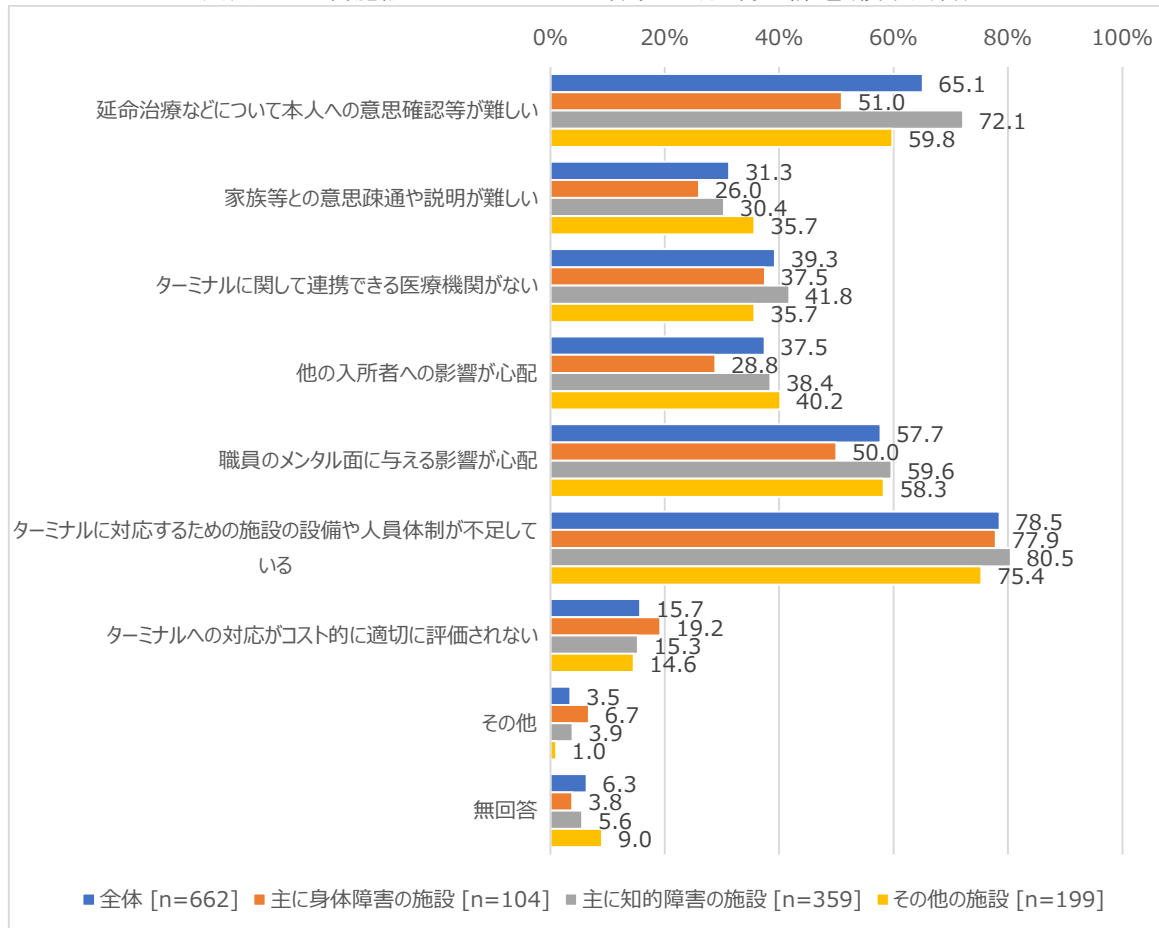
図表 336 ターミナルケア・看取りに対するマニュアルの整備状況



⑧自施設でターミナルケア・看取りを行う際の課題

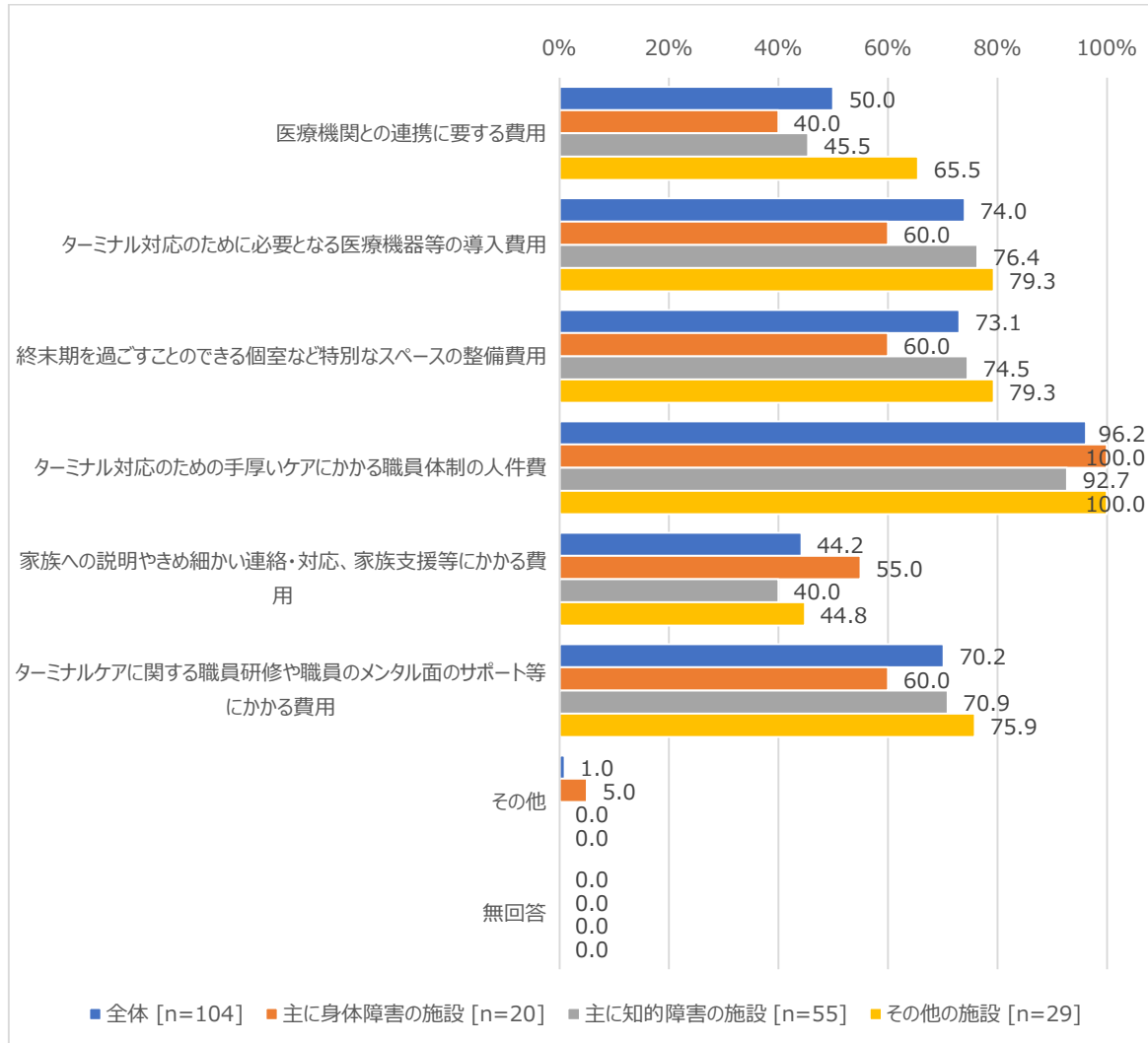
自施設でターミナルケア・看取りを行う際の課題を聞いたところ、「ターミナルに対応するための施設の設備や人員体制が不足している」が78.5%、「延命治療などについて本人への意思確認等が難しい」が65.1%、「職員のメンタル面に与える影響が心配」が57.7%等となっている。

図表 337 自施設でターミナルケア・看取りを行う際の課題〔複数回答〕



「ターミナルへの対応がコスト的に適切に評価されない」と回答した施設に、評価されないと感じるコストについて聞いたところ、「ターミナル対応のための手厚いケアにかかる職員体制の人的費」が96.2%、「ターミナル対応のために必要となる医療機器等の導入費用」が74.0%、「終末期を過ごすことのできる個室など特別なスペースの整備費用」が73.1%、「ターミナルケアに関する職員研修や職員のメンタル面のサポート等にかかる費用」が70.2%等となっている。

図表 338 自施設でターミナルケア・看取りを行う際に評価されないと感じるコスト〔複数回答〕

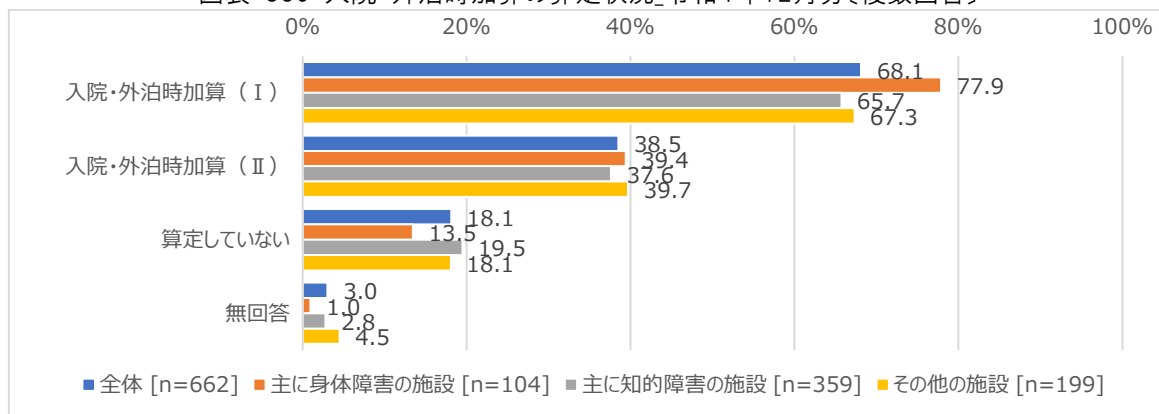


(6) 入院・外泊について

①入院・外泊時加算の算定状況

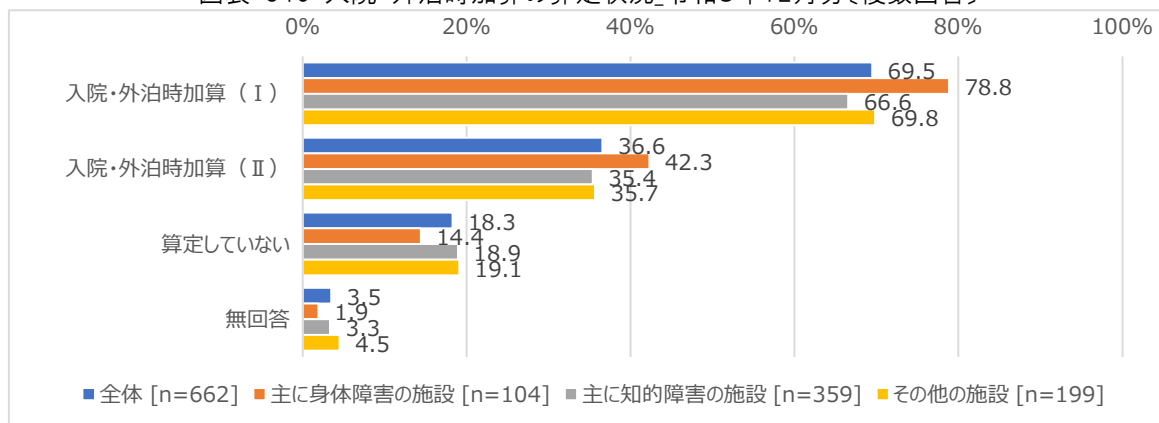
入院・外泊時加算の算定状況について聞いたところ、令和4年12月分は、「入院・外泊時加算（Ⅰ）」が68.1%、「入院・外泊時加算（Ⅱ）」が38.5%、「算定していない」が18.1%となっている。

図表 339 入院・外泊時加算の算定状況_令和4年12月分〔複数回答〕



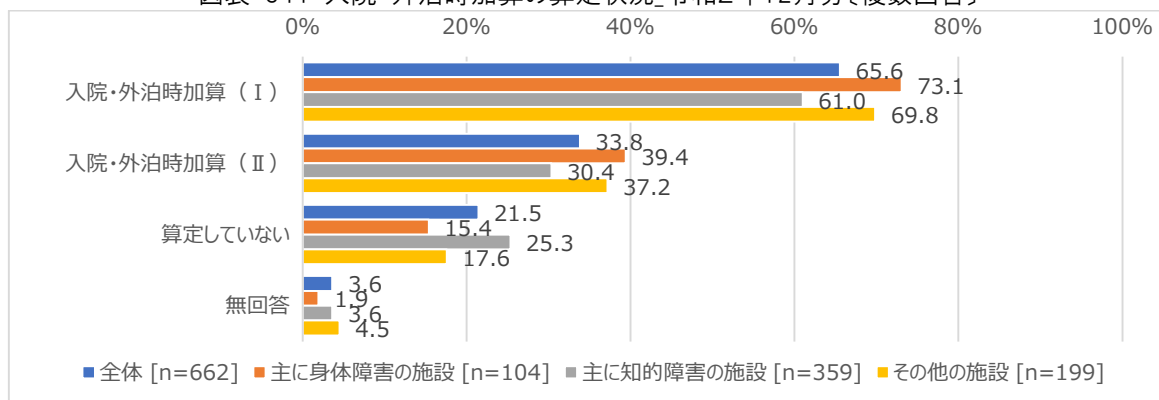
令和3年12月分は、「入院・外泊時加算（Ⅰ）」が69.5%、「入院・外泊時加算（Ⅱ）」が36.6%、「算定していない」が18.3%となっている。

図表 340 入院・外泊時加算の算定状況_令和3年12月分〔複数回答〕



令和2年12月分は、「入院・外泊時加算（Ⅰ）」が65.6%、「入院・外泊時加算（Ⅱ）」が33.8%、「算定していない」が21.5%となっている。

図表 341 入院・外泊時加算の算定状況_令和2年12月分〔複数回答〕

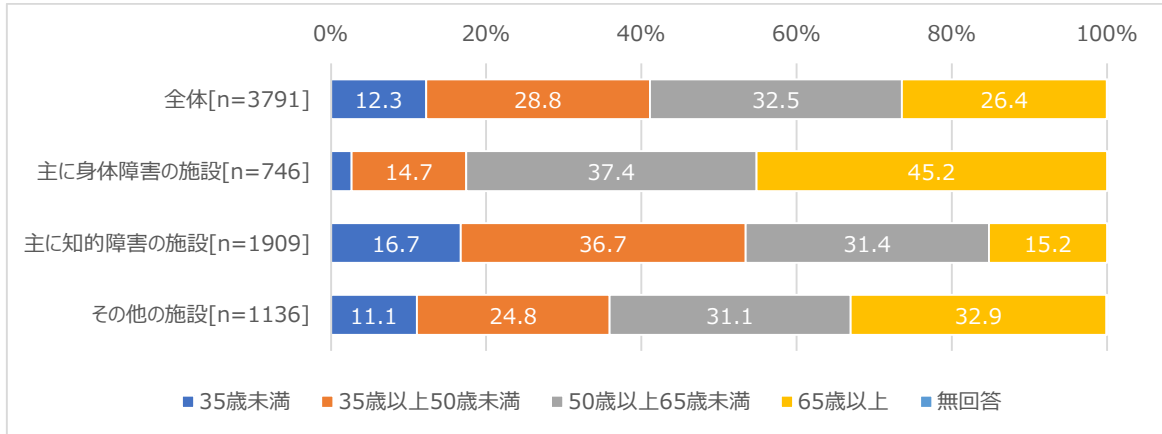


②入院・外泊をした入所者の状況

入院・外泊をした入所者の個別状況について聞いた。

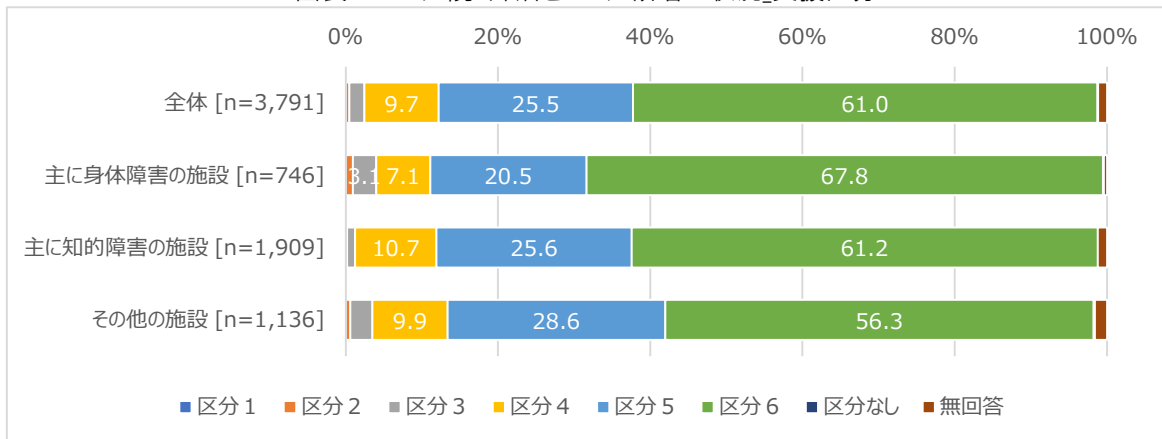
年齢区分は、「50歳以上65歳未満」が32.5%、「35歳以上50歳未満」が28.8%、「65歳以上」が26.4%、「35歳未満」が12.3%となっている。平均年齢は53.4歳となっている。

図表 342 入院・外泊をした入所者の状況_年齢区分



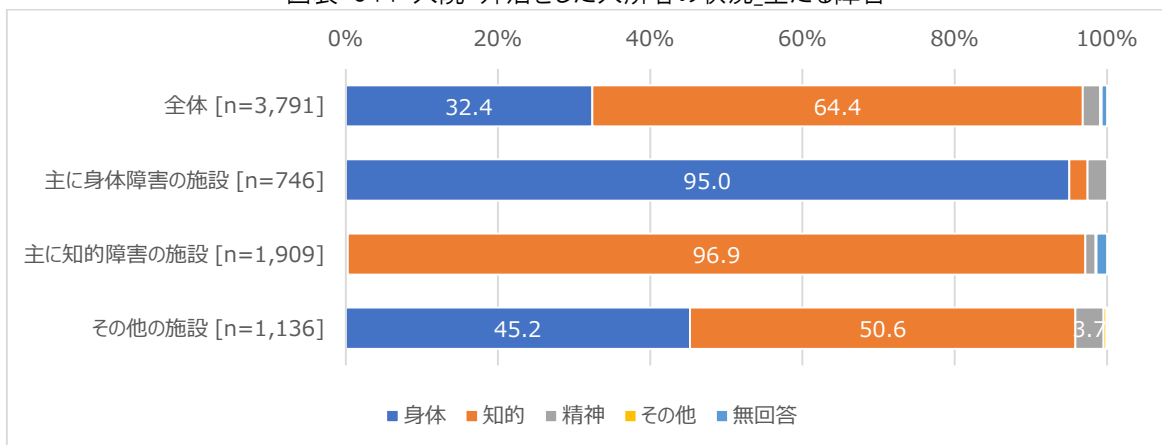
支援区分は、「区分6」が61.0%、「区分5」が25.5%等となっている。

図表 343 入院・外泊をした入所者の状況_支援区分



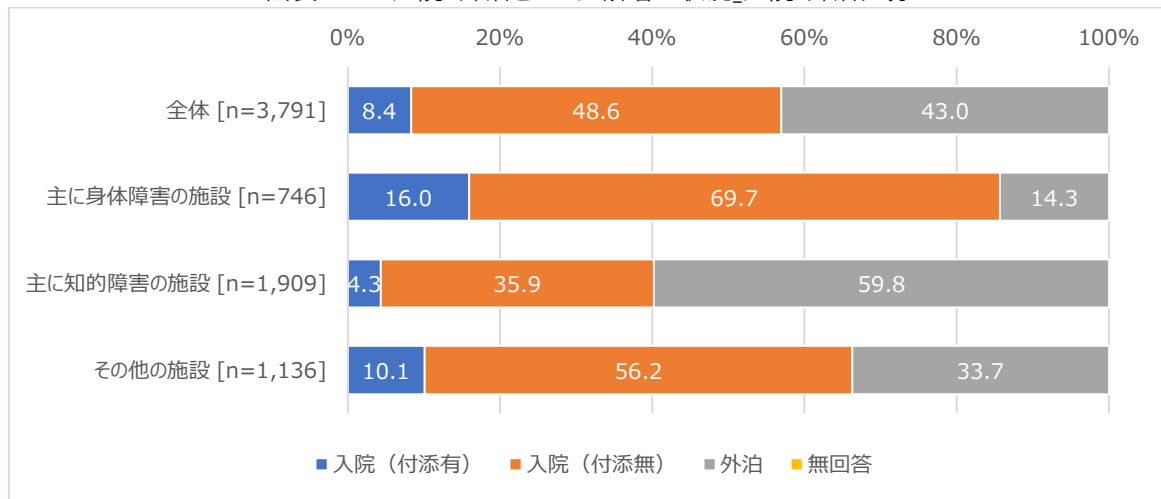
主たる障害は、「知的」が64.4%、「身体」が32.4%となっている。

図表 344 入院・外泊をした入所者の状況_主たる障害



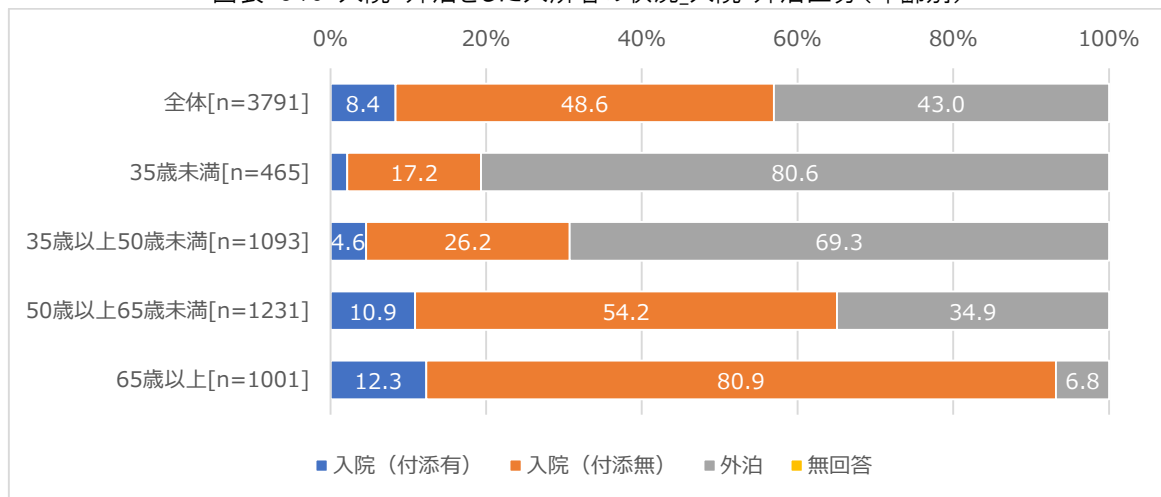
入院・外泊の区分は、「入院（付添無）」が48.6%、「外泊」が43.0%、「入院（付添有）」が8.4%となっている。

図表 345 入院・外泊をした入所者の状況_入院・外泊区分



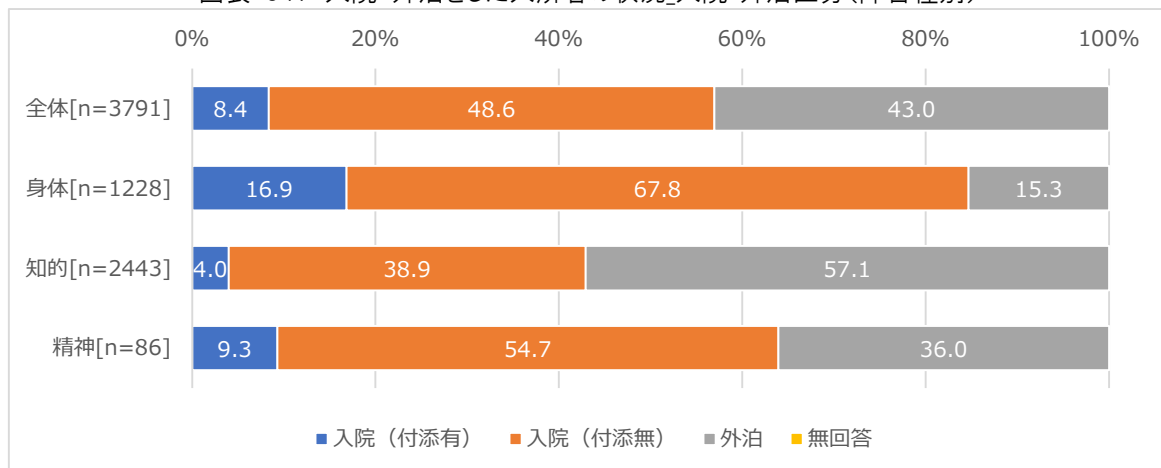
年齢別で見ると、高齢になるにつれ、入院者の割合が増える傾向が見られる。

図表 346 入院・外泊をした入所者の状況_入院・外泊区分(年齢別)



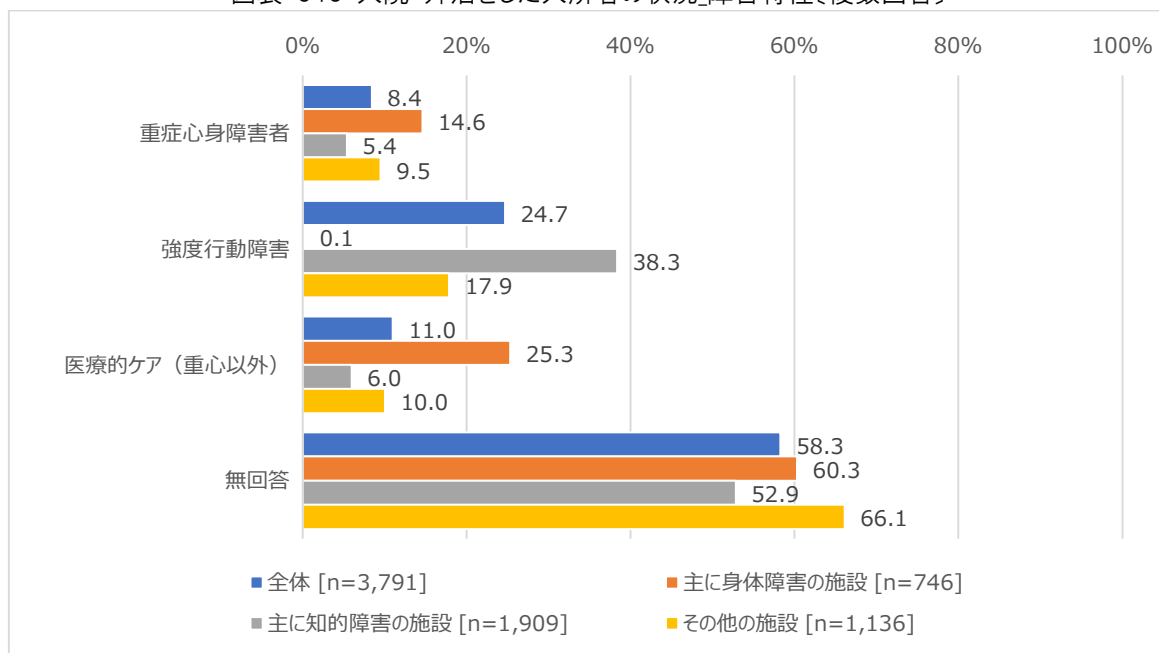
障害種別で見ると、「身体」で入院者の割合が高くなっている。

図表 347 入院・外泊をした入所者の状況_入院・外泊区分(障害種別)



障害特性については、「強度行動障害」が24.7%となっている。

図表 348 入院・外泊をした入所者の状況_障害特性〔複数回答〕



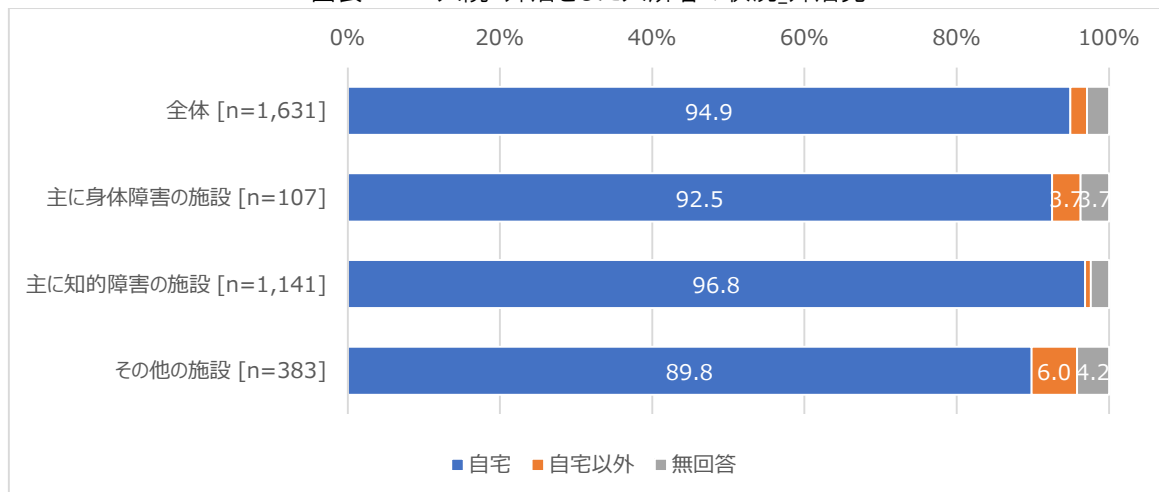
入院・外泊の期間は、平均で16.8日となっている。

図表 349 入院・外泊をした入所者の状況_入院・外泊の期間

	全体 [n=3,791]	主に身体障害の施設 [n=746]	主に知的障害の施設 [n=1,909]	その他の施設 [n=1,136]
平均期間（日）	16.8	20.9	13.5	19.6

外泊の場合の外泊先は、「自宅」が94.9%となっている。

図表 350 入院・外泊をした入所者の状況_外泊先

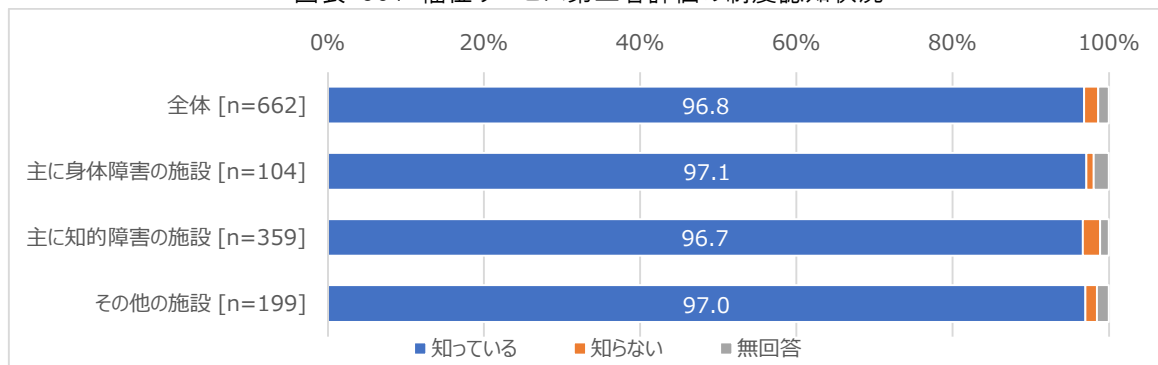


(7) 第三者評価について

①福祉サービス第三者評価の制度認知状況

福祉サービス第三者評価の制度認知状況は、「知っている」が96.8%となっている。

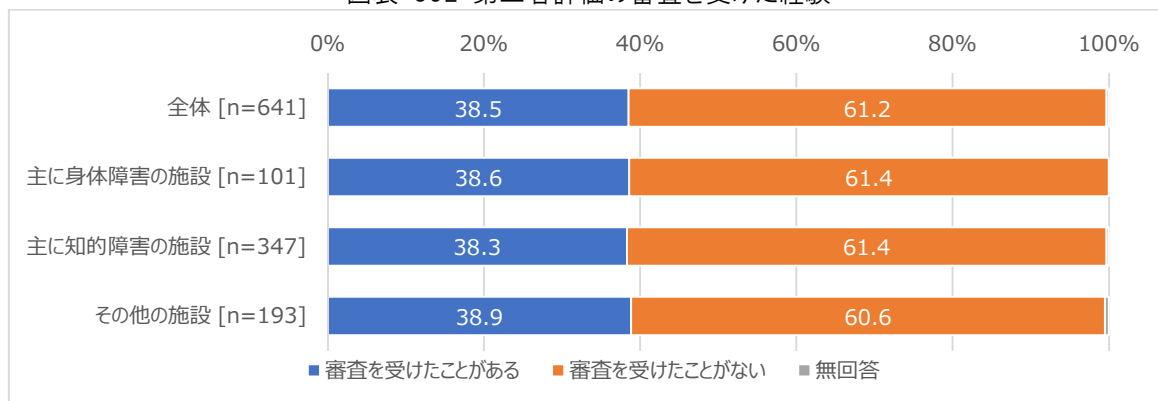
図表 351 福祉サービス第三者評価の制度認知状況



②第三者評価の審査を受けた経験

第三者評価の審査を受けた経験は、「審査を受けたことがない」が61.2%、「審査を受けたことがある」が38.5%となっている。

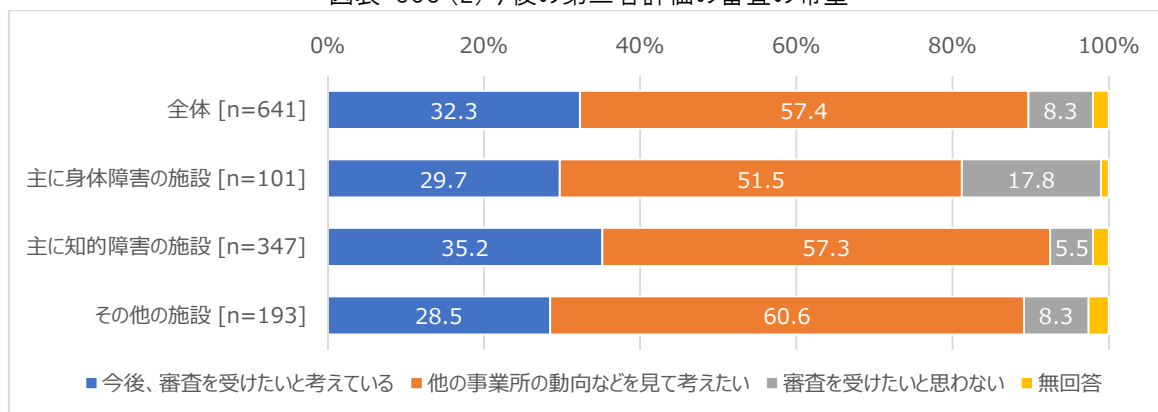
図表 352 第三者評価の審査を受けた経験



③今後の第三者評価の審査の希望

今後の第三者評価の審査の希望は、「他の事業所の動向などを見て考えたい」が57.4%、「今後、審査を受けたいと考えている」が32.3%、「審査を受けたいと思わない」が8.3%となっている。

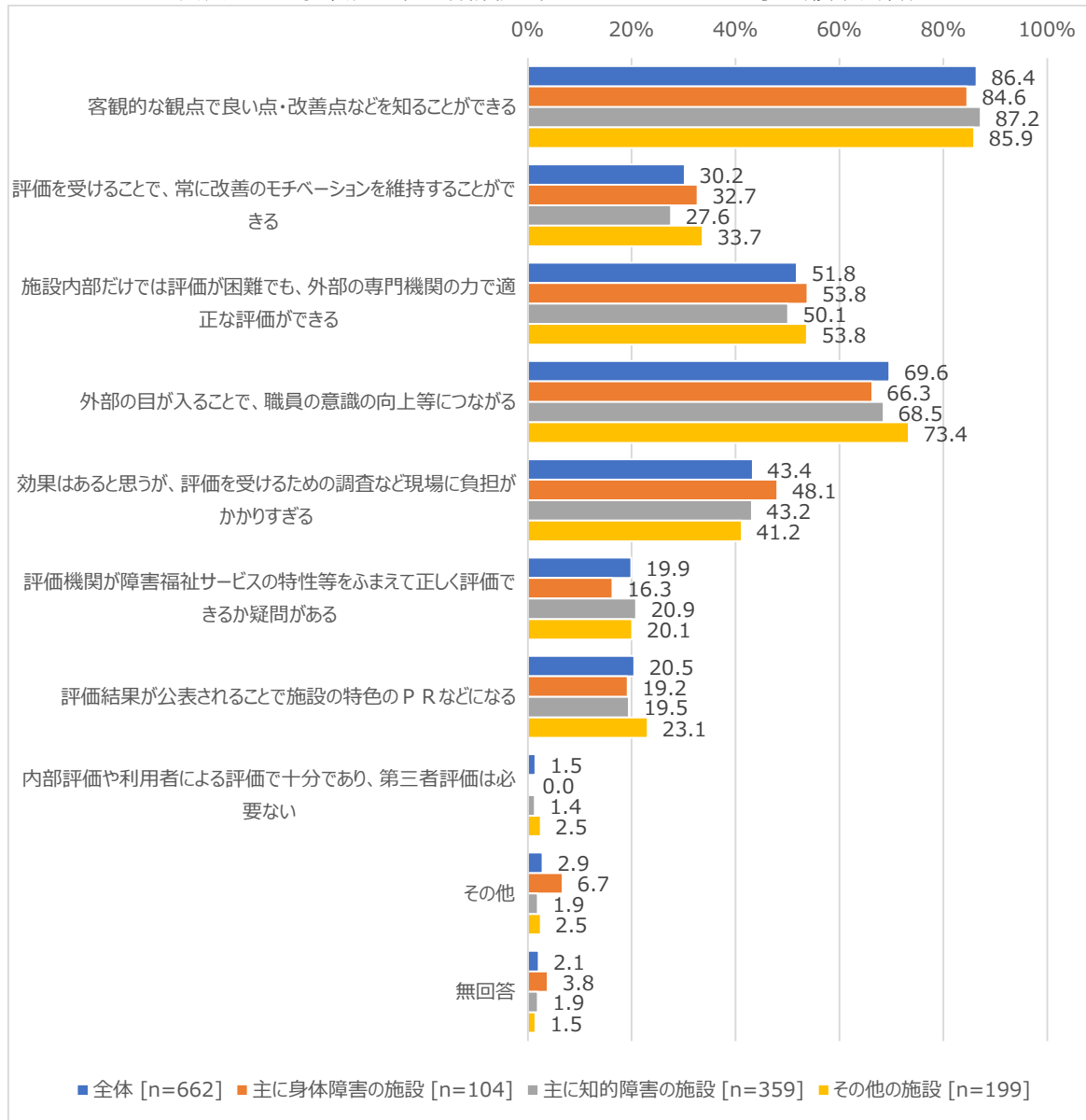
図表 353 (2) 今後の第三者評価の審査の希望



④事業所が第三者評価を受けることについての考え

事業所が第三者評価を受けることについての考えは、「客観的な観点で良い点・改善点などを知ることができる」が86.4%、「外部の目が入ることで、職員の意識の向上等につながる」が69.6%、「施設内部だけでは評価が困難でも、外部の専門機関の力で適正な評価ができる」が51.8%等となっている。

図表 354 事業所が第三者評価を受けることについての考え〔複数回答〕

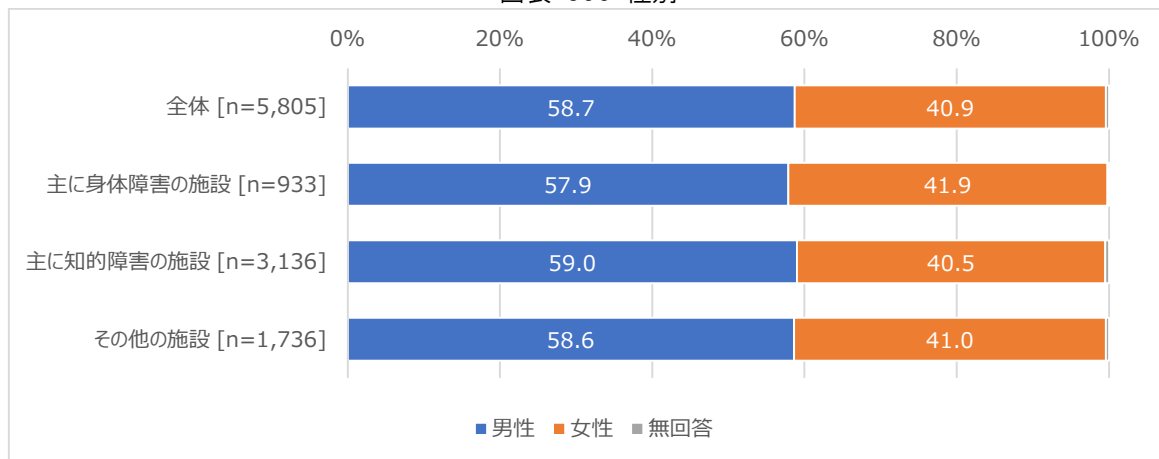


(8) 利用者の状況

①性別

性別は、「男性」が58.7%、「女性」が40.9%となっている。

図表 355 性別



②年齢

年齢は、平均で49.3歳となっている。

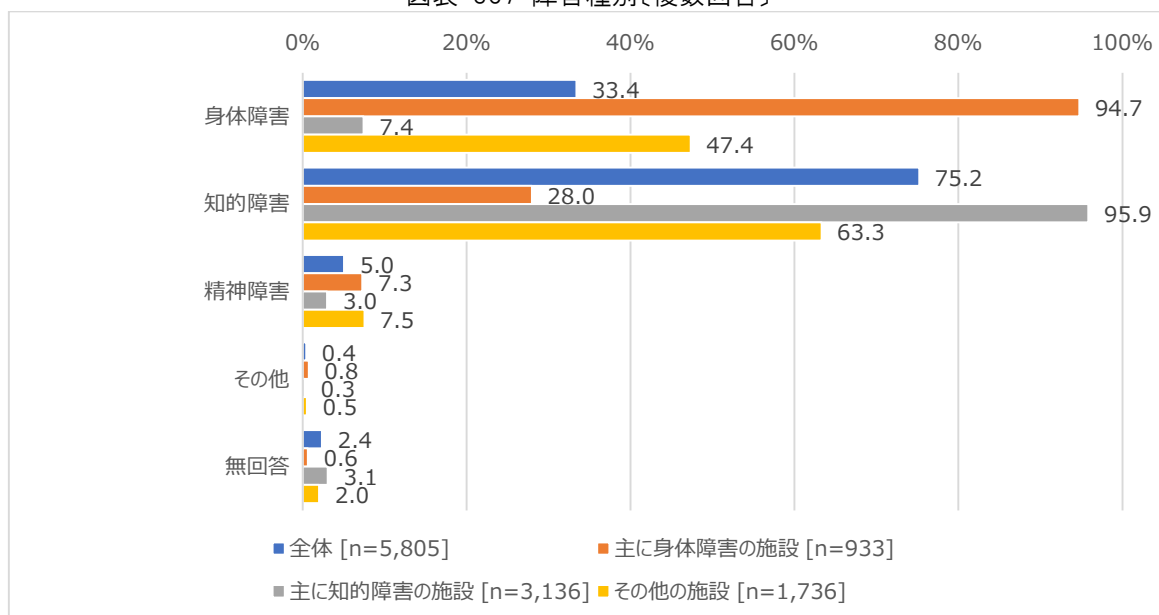
図表 356 年齢

	全体 [n=5,805]	主に身体障害 の施設 [n=933]	主に知的障害 の施設 [n=3,136]	その他の施設 [n=1,736]
平均年齢 (歳)	49.3	52.6	47.5	50.7

③障害種別

障害種別は、「知的障害」が75.2%、「身体障害」が33.4%となっている。

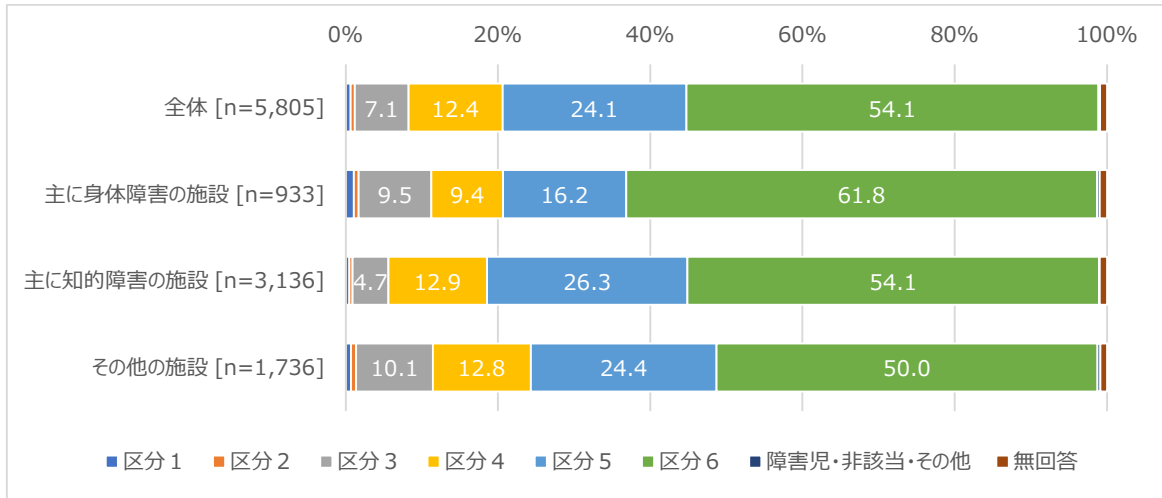
図表 357 障害種別〔複数回答〕



④障害支援区分

障害支援区分は、「区分6」が54.1%と多くなっている。

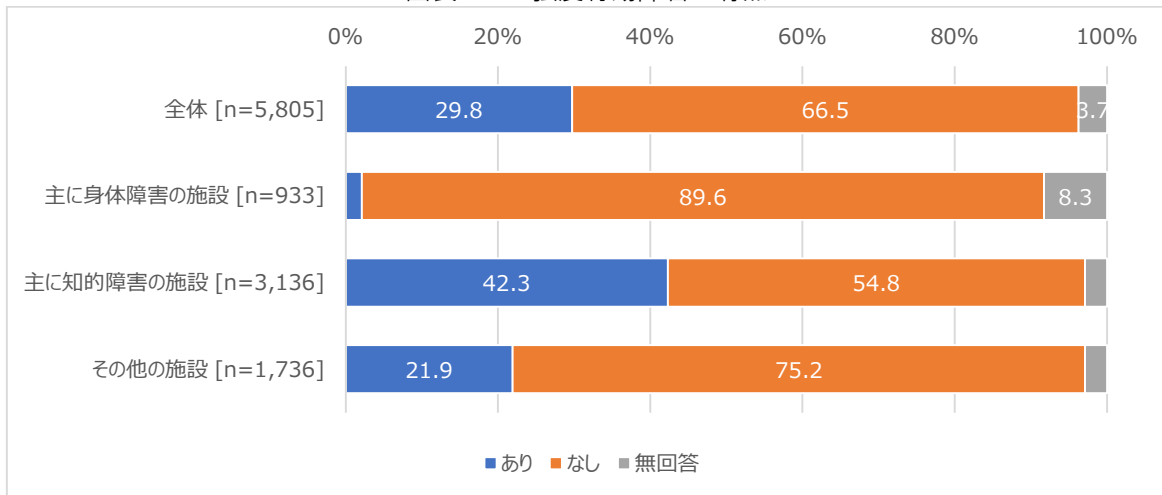
図表 358 障害支援区分



⑤強度行動障害の有無

強度行動障害の有無は、「なし」が66.5%、「あり」が29.8%となっている。

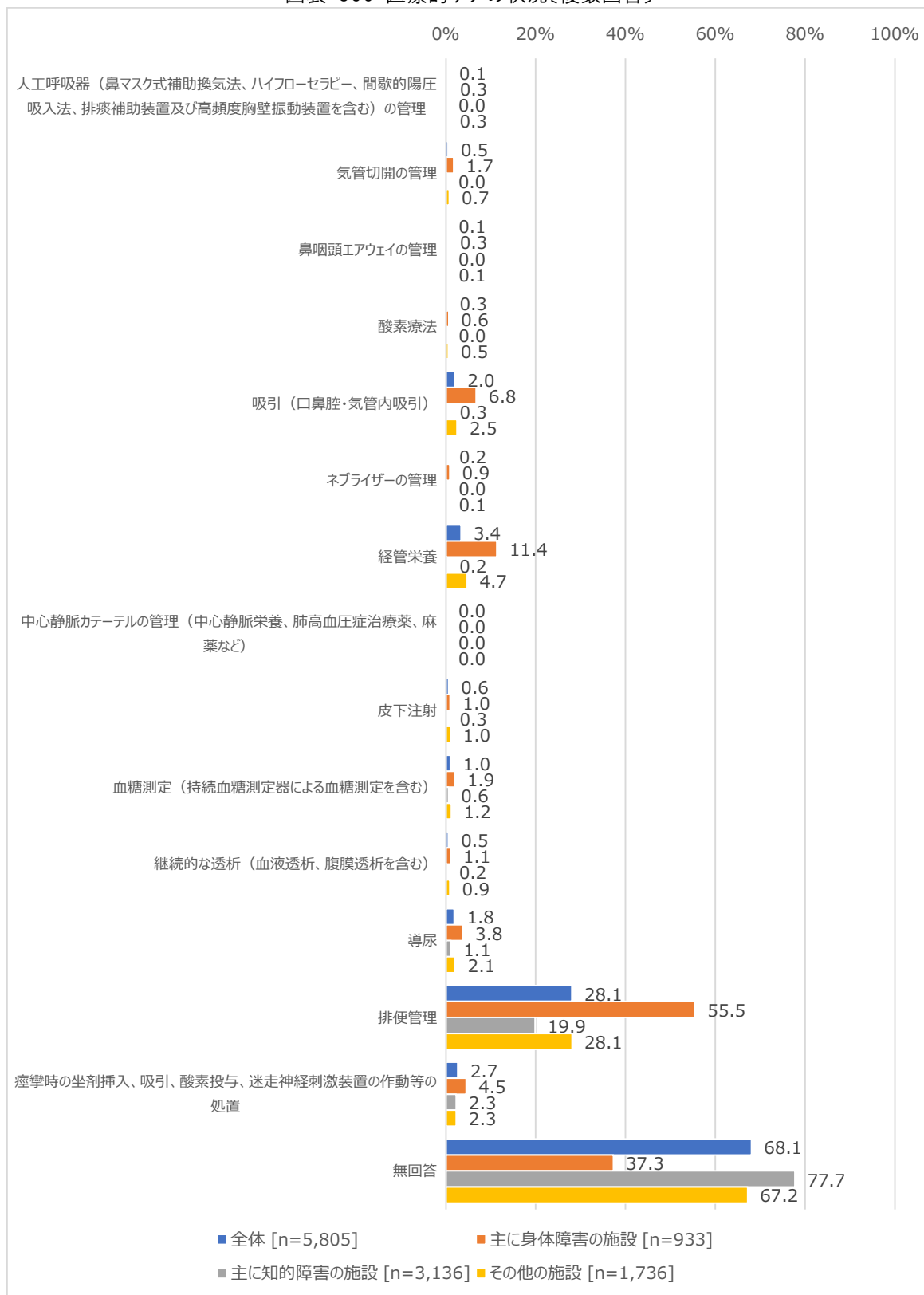
図表 359 強度行動障害の有無



⑥医療的ケアの状況

医療的ケアの状況は、「排便管理」が28.1%等となっている。

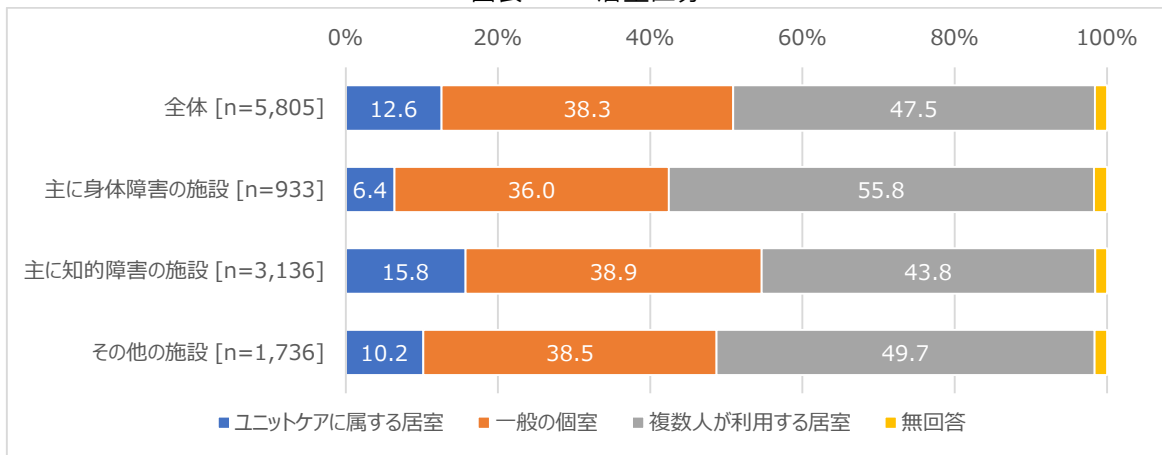
図表 360 医療的ケアの状況〔複数回答〕



⑦居室区分

居室区分は、「複数人が利用する居室」が47.5%、「一般の個室」が38.3%、「ユニットケアに属する居室」が12.6%となっている。

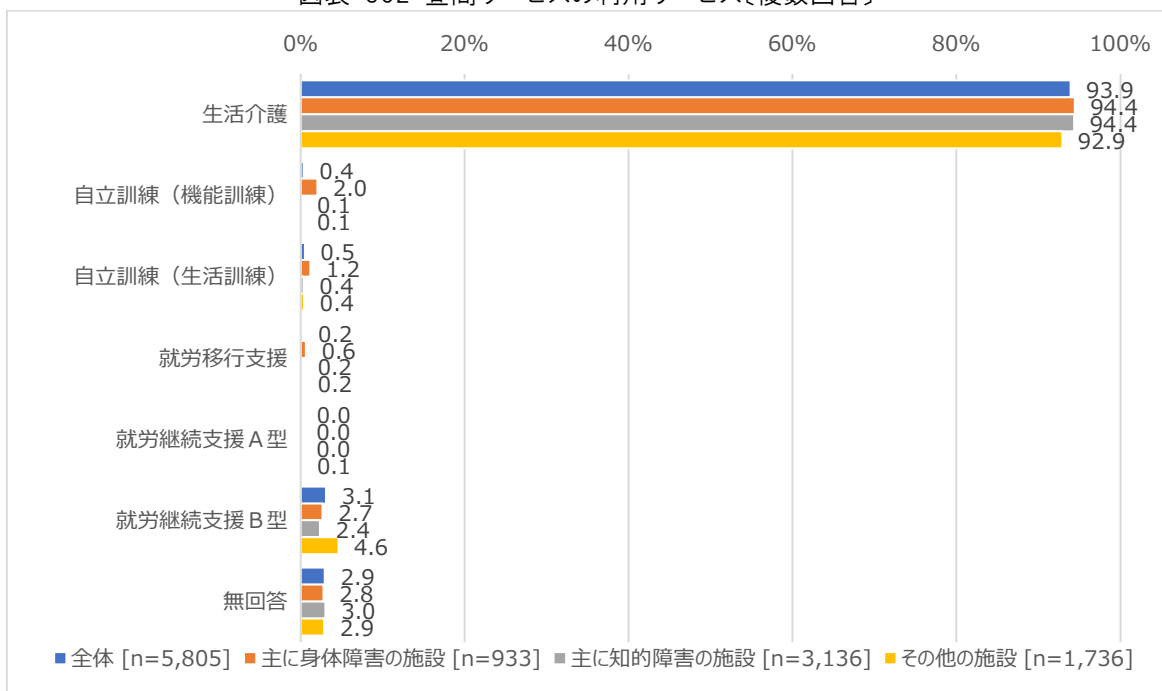
図表 361 居室区分



⑧昼間サービスの利用サービス

昼間サービスの利用サービスは、「生活介護」が93.9%となっている。

図表 362 昼間サービスの利用サービス〔複数回答〕



⑨昼間サービスの利用日数

昼間サービスの利用日数は、平均で23.2日となっている。

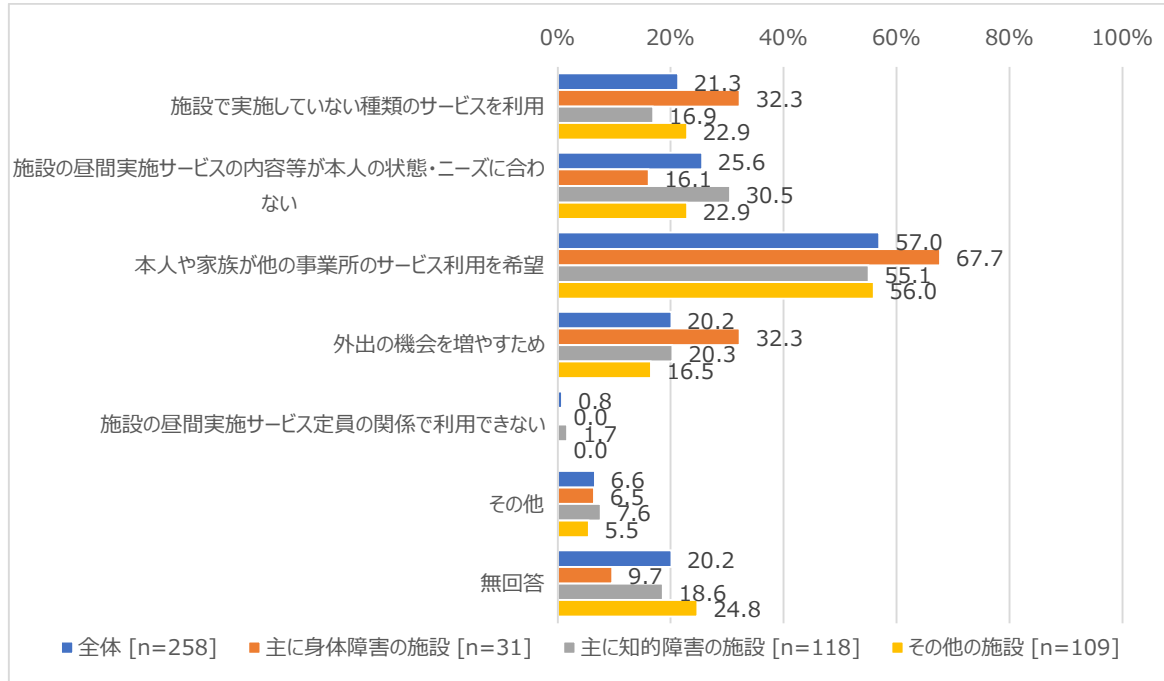
図表 363 昼間サービスの利用日数

(日)	全体 [n=5,805]	主に身体障害の施設 [n=933]	主に知的障害の施設 [n=3,136]	その他の施設 [n=1,736]
令和4年12月に施設の昼間サービスを利用した日数	22.6	23.6	22.5	22.1
令和4年12月に施設外の昼間サービスを利用した日数	0.6	0.2	0.6	0.9
合計	23.2	23.9	23.1	23.0

⑩施設外の昼間サービスを利用している理由

施設外の昼間サービスを利用している入所者について、その理由を聞いたところ、「本人や家族が他の事業所のサービス利用を希望」が57.0%、「施設の昼間実施サービスの内容等が本人の状態・ニーズに合わない」が25.6%等となっている。

図表 364 施設外の昼間サービスを利用している理由〔複数回答〕



⑪昼間サービスのない日の活動内容

昼間サービスのない日の活動内容は、「居室内での静養」が50.4%、「昼間実施サービスと同様の活動」が34.5%となっている。

図表 365 昼間サービスのない日の活動内容〔複数回答〕

